

Yamashin Paradigm Shift—事業ポートフォリオの拡大が本格化

活況な中国市場—建機新車販売台数は過去最高を記録

ヤマシンフィルタ株式会社
2020年3月期第3四半期
決算説明資料

東証一部

6240

2020年2月5日

20年3月期第3四半期における事業環境・当社取り組みについて

事業環境

- 世界の建機市場の5割強を占める中国において、品質の改善や価格競争力で勝る**中国系建機メーカーの市場占有率拡大が継続し**、日系メーカー中心とした**主要得意先各社のシェアは大幅に縮小**
- 東南アジアでは、政情不安感が残るものの、インフラ需要は堅調、主要得意先各社は**中国系建機メーカーの台頭によりシェア縮小**
- 北米・欧州・日本の建機需要は概ね堅調に推移
- 米中貿易摩擦は沈静化が見られ、EU離脱問題はいったん収束し、中国経済は**インフラ投資拡大と第4次環境規制対応に対する新車特需を背景に**、建機市場は下支えされる
- 新型肺炎の急速な拡大により、世界経済への影響懸念が高まる

当社取り組み

取組み詳細はP2記載

- 中国系建機メーカーへの採用率向上
- 中国補給品市場への進出
- 北米市場のシェア拡大
- 新素材やIoT技術を活かしたフィルタ製品ラインナップの拡充
- エアフィルタビジネスの拡充
- 産業副資材として「YAMASHIN Nano Filter™」の展開



20年3月期第3四半期業績動向

- 連結売上高：前年同期比13.3%減収の9,186(百万円)**
 - 建機用フィルタ売上高は中国及び東南アジア市場における主要得意先の更なるシェア縮小及び台風19号影響に伴う減少により**前年同期比19.7%減収の8,498(百万円)**
 - エアフィルタ売上高は当第3四半期より貢献し**687(百万円)**
- 営業利益：売上高減少及び先行投資に伴う費用負担増加により、**前年同期比62.4%減益の600(百万円)**
- 通期業績下方修正のポイント
 - 増収要因**：中国系建機メーカーへの純正品採用の拡大継続・北米向け新製品採用・技術革新による新製品提案
 - 減収要因**：主要得意先各社の中国及び東南アジア市場における市場占有率の更なる縮小
台風19号影響に伴う主要得意先の更なる減産
新型肺炎の急速な拡大による世界経済見通しの不透明感の増大
 - 結論**：増収要因以上に減収要因の影響が大きく通期業績見通しを2度目の下方修正

20年3月期第4四半期以降の当社取り組みについて

建設機械用油圧フィルタ

中国系建機メーカーへの採用率向上

- 主要得意先各社が中国市場でのシェアを落とす中、第4次環境規制対応新機種開発を背景に中国系建機メーカーへの採用実績は着実に向上、引き続き中国系建機メーカーへの採用拡大に向けた活動を加速する

中国補給品市場への進出

- 中国系建機メーカー保証期間終了後のアフターマーケットに対し、当社補給製品の供給を開始、更なるシェア拡大を図る

北米市場のシェア拡大

- 当社主力製品であるリターンフィルタに加え、燃料用、トランスミッション用フィルタ等の新規採用提案が進展

新素材やIoT技術を活かしたフィルタ製品ラインナップの拡充

- ロングライフ、エアレーション技術、センサ技術を搭載したフィルタ製品の主要得意先への積極的な提案を実施

エアフィルタビジネスの拡充

- 建機メーカー各社への当社グループ会社「アクシー」製エアフィルタの製品・技術提案開始。当社フィルタのラインナップ拡充による顧客提案力強化及び収益の拡大を図る
- エアフィルタ事業の中期的成長に向けた、生産規模拡張、応用技術開発拠点の設立を目的とした新社屋、新工場の取得

産業副資材として「YAMASHIN Nano Filter™」の展開

アパレル向け展開

- 紳士服販売大手での素材採用を足掛かりに、国内外大手アパレルメーカーへの当社製品供給を目指す

エアフィルタ向け展開

- 国内最大手空調機メーカーに対する当社製品供給見込み
- アクシー社の製品技術力と「YAMASHIN Nano Filter™」の素材を活用した世界初の完全ナノファイバーエアフィルタの製品化による製品差別化並びに付加価値向上による競争力強化を図る

その他

- 農業ベンチャー企業と協働し、ビニールハウスの保温資材として活用を検討する
- 「YAMASHIN Nano Filter™」の素材特性を活かした産業副資材として、異業種とのコラボレーションを拡大・加速する

I

2020年3月期第3四半期実績及び2020年3月期通期見通し

P4

II

建機市場を取り巻く環境

P29

III

今後の戦略

P37



I

2020年3月期第3四半期実績及び 2020年3月期通期見通し

2020年3月期 第3四半期業績（2019年10月~12月）



	2019/3期	2020/3期	前年同期比	
	Q3 実績	Q3 実績	増減	
(単位：百万円)	金額	金額	金額	%
売上高	3,462	3,374	△87	△2.5%
建機用フィルタ	3,462	2,686	△775	△22.4%
エアフィルタ	-	687	687	-
営業利益	512	212	△300	△58.6%
建機用フィルタ	512	142	△369	△72.1%
エアフィルタ	-	69	69	-
営業利益率	14.8%	6.3%	△8.5Pt	
経常利益	482	214	△267	△55.5%
経常利益率	13.9%	6.4%	△7.6Pt	
当期純利益	332	158	△174	△52.4%
純利益率	9.6%	4.7%	△4.9Pt	
為替レート AR USD	112.9	108.8	△4.2	△3.7%
EUR	128.8	120.3	△8.5	△6.6%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

※実績為替レートは期中平均の値です

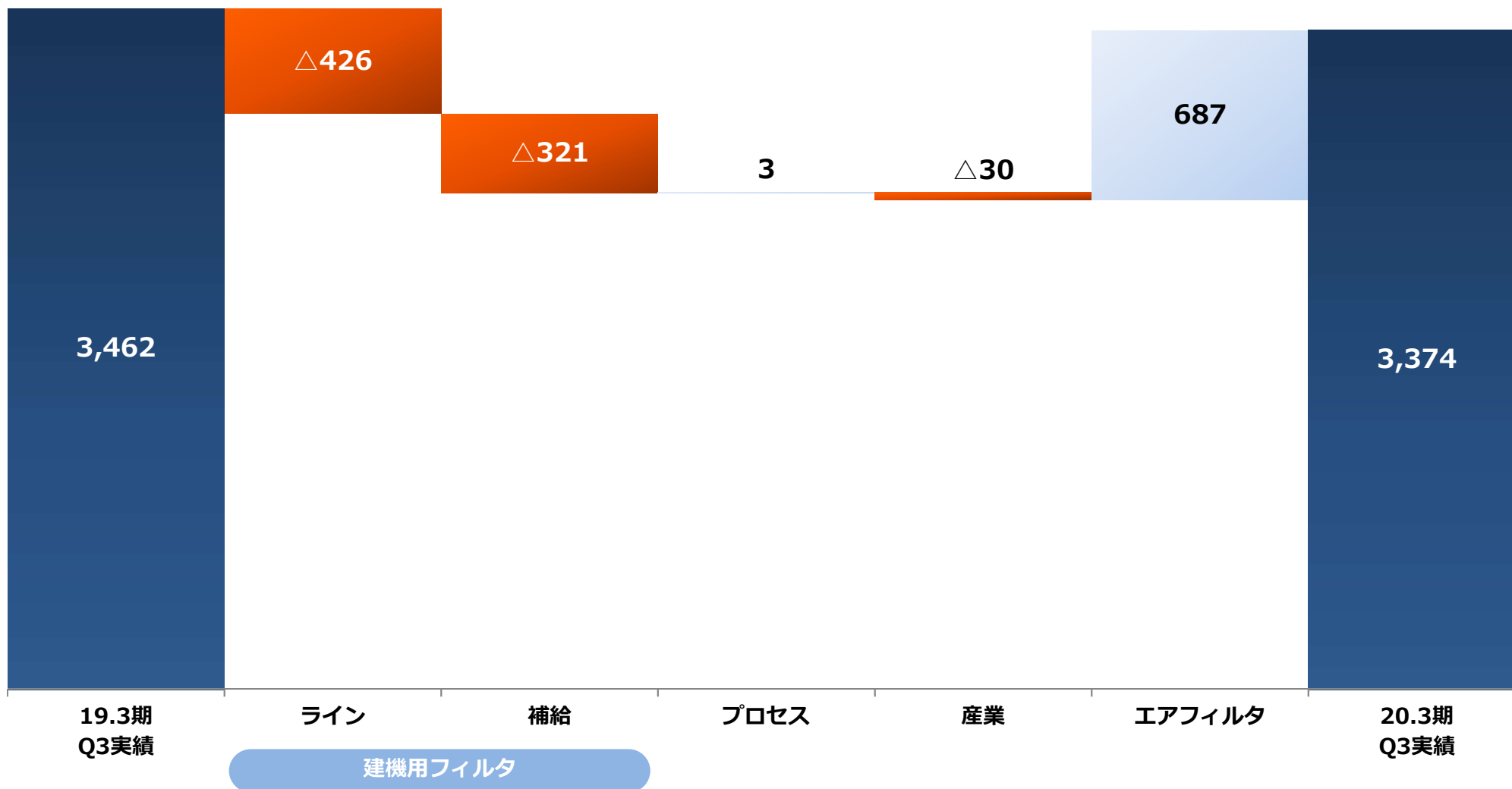
	2019/3期 Q3 実績	2020/3期 Q3 実績	前年同期比 増減	
	金額	金額	金額	%
(単位：百万円)				
建機用フィルタ	3,084	2,336	△748	△24.3%
ライン品	1,337	910	△426	△31.9%
補給品	1,747	1,425	△321	△18.4%
産業用フィルタ	146	115	△30	△21.0%
プロセス用フィルタ	231	235	3	1.7%
エアフィルタ	-	687	687	-
売上高合計	3,462	3,374	△87	△2.5%

	2019/3期 Q3 実績		2020/3期 Q3 実績		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
(単位：百万円)						
国内既存 (建機用フィルタ)	1,679	48.5%	1,230	36.5%	△449	△26.7%
北米	535	15.5%	591	17.5%	55	10.4%
中国	345	10.0%	289	8.6%	△55	△16.1%
アジア	472	13.6%	311	9.2%	△160	△34.0%
欧州	427	12.4%	261	7.8%	△165	△38.7%
その他 (中東他)	1	0.0%	1	0.0%	0	△1.2%
既存ビジネス 合計	3,642	100.0%	2,686	79.6%	△775	△22.4%
国内新規 (エアフィルタ)	-	-	687	20.4%	687	-
売上高合計	3,462	100.0%	3,374	100.0%	△87	△2.5%

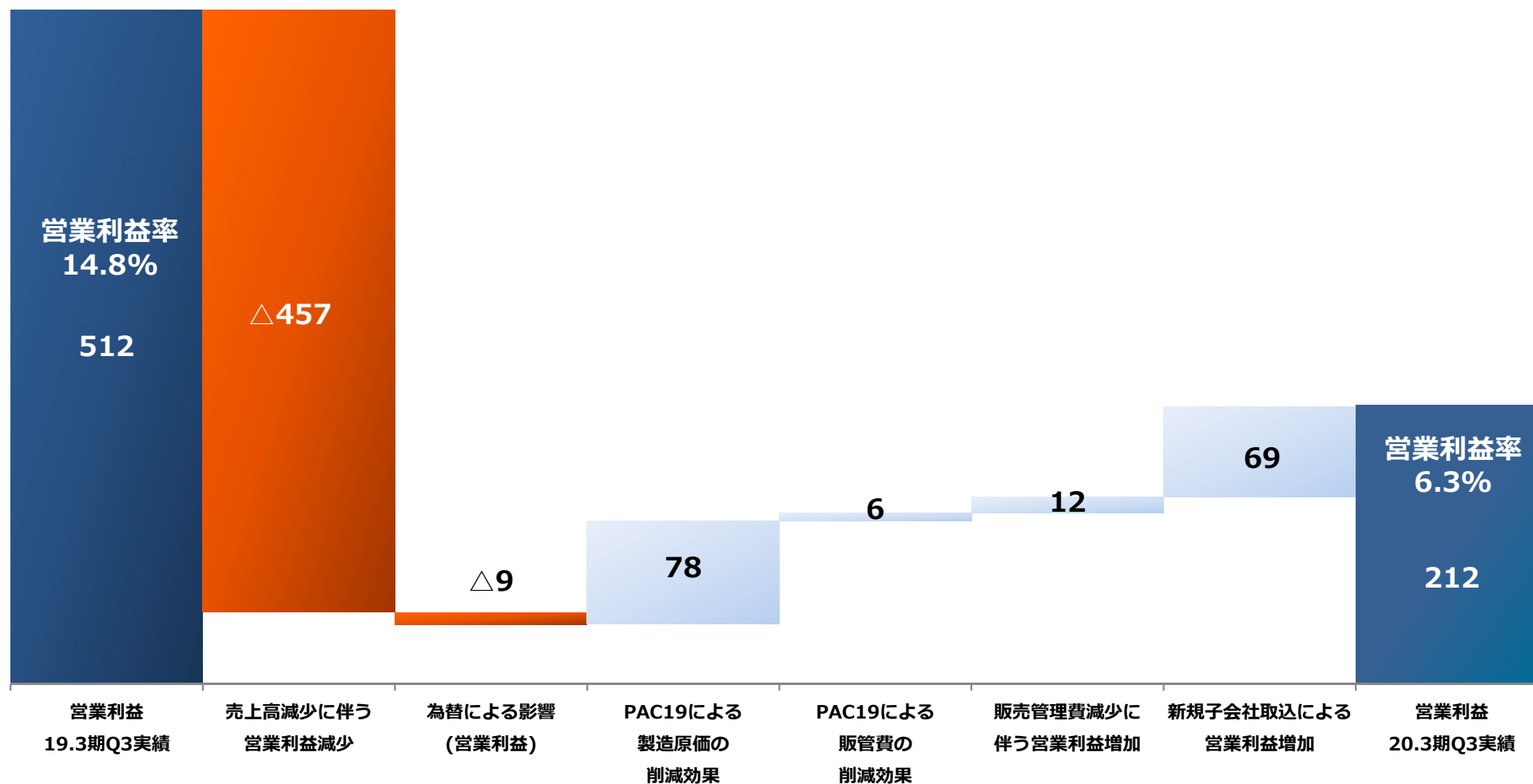
※当社の請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

(単位：百万円)



(単位：百万円)



※PAC (Promptly Activated Cost reduction) 全社的なコスト削減プロジェクト

2020年3月期 第3四半期 累計業績（4月～12月）



	2019/3期 Q3累計 実績	2020/3期 Q3累計 実績	前年同期比 増減	
	金額	金額	金額	%
(単位：百万円)				
売上高	10,589	9,186	△1,403	△13.3%
建機用フィルタ	10,589	8,498	△2,091	△19.7%
エアフィルタ	-	687	687	-
営業利益	1,597	600	△997	△62.4%
建機用フィルタ	1,597	531	△1,066	△66.8%
エアフィルタ	-	69	69	-
営業利益率	15.1%	6.5%	△8.6Pt	
経常利益	1,558	501	△1,057	△67.8%
経常利益率	14.7%	5.5%	△9.3Pt	
当期純利益	1,140	345	△795	△69.7%
純利益率	10.8%	3.8%	△7.0Pt	
為替レート AR USD	111.2	108.7	△2.5	△2.3%
EUR	129.5	121.1	△8.5	△6.5%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます
 ※実績為替レートは期中平均の値です

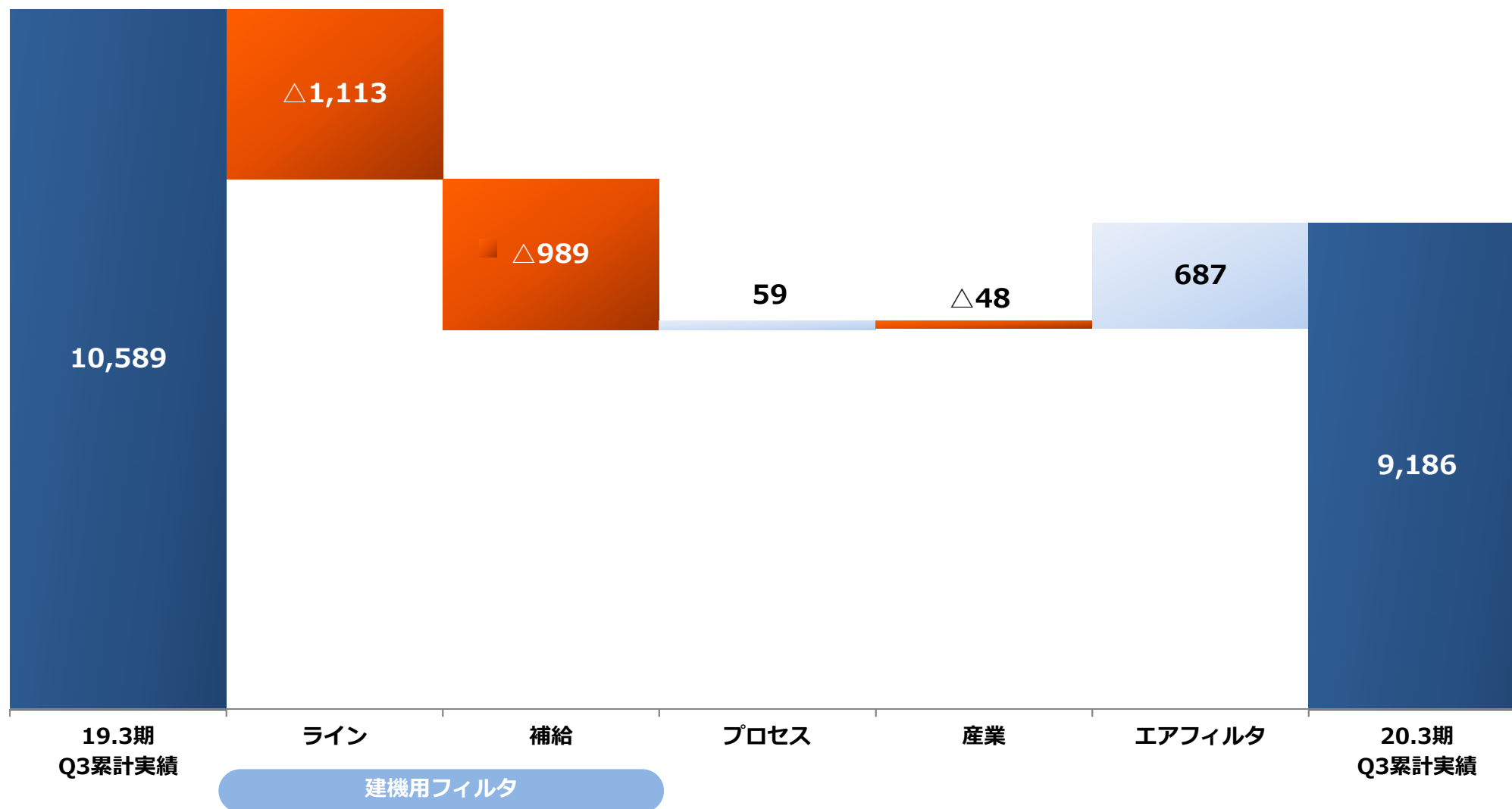
	2019/3期 Q3累計 実績	2020/3期 Q3累計 実績	前年同期比 増減	
	金額	金額	金額	%
(単位：百万円)				
建機用フィルタ	9,531	7,429	△2,102	△22.1%
ライン品	4,237	3,124	△1,113	△26.3%
補給品	5,294	4,304	△989	△18.7%
産業用フィルタ	419	370	△48	△11.7%
プロセス用フィルタ	639	699	59	9.4%
エアフィルタ	-	687	687	-
売上高合計	10,589	9,186	△1,403	△13.3%

	2019/3期 Q3 累計実績		2020/3期 Q3 累計実績		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
国内既存 (建機用フィルタ)	5,025	47.5%	4,052	44.1%	△973	△19.4%
北米	1,700	16.1%	1,787	19.5%	86	5.1%
中国	1,347	12.7%	878	9.6%	△468	△34.8%
アジア	1,390	13.1%	987	10.8%	△402	△29.0%
欧州	1,122	10.6%	789	8.6%	△332	△29.7%
その他 (中東他)	3	0.0%	3	0.0%	0	5.2%
既存ビジネス 合計	10,589	100.0%	8,498	92.5%	△2,091	△19.7%
国内新規 (エアフィルタ)	-	-	687	7.5%	687	-
売上高合計	10,589	100.0%	9,186	100.0%	△1,403	△13.3%

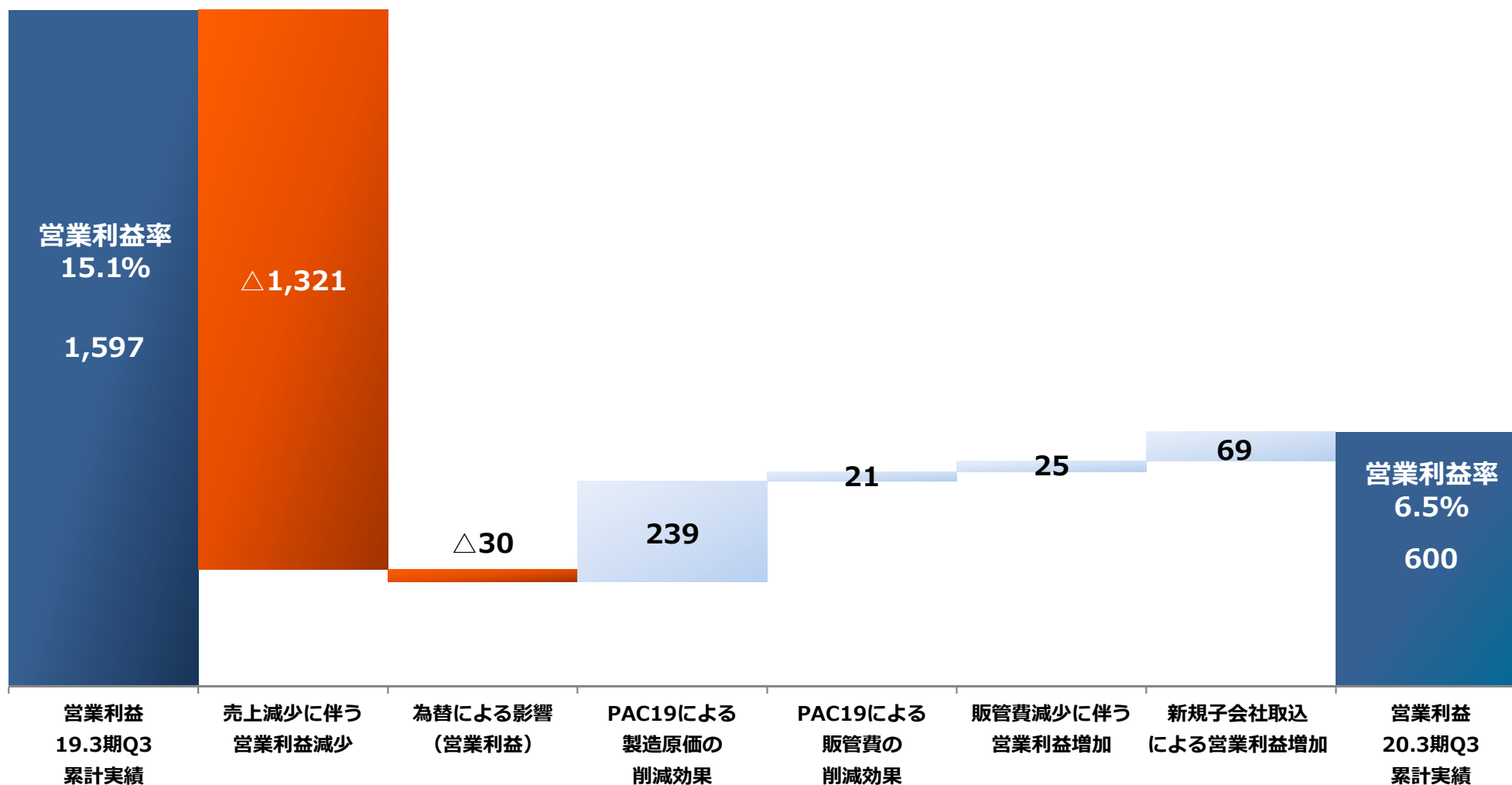
※当社の請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

(単位 : 百万円)



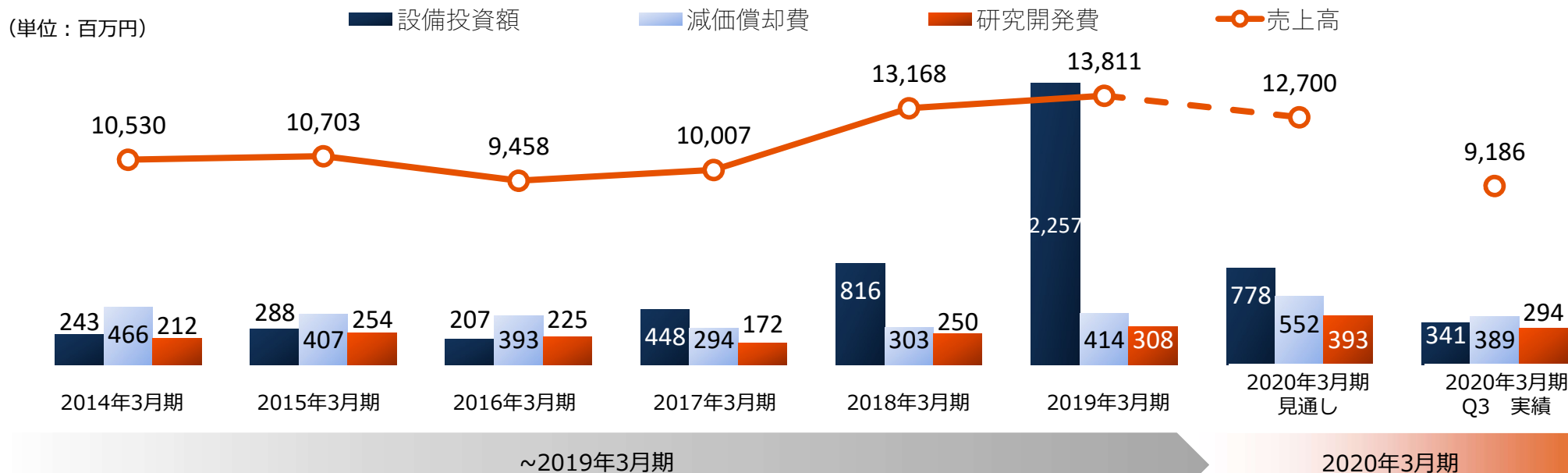
(単位：百万円)



※PAC (Promptly Activated Cost reduction) 全社的なコスト削減プロジェクト

(単位：百万円)	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2020年3月期
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	見通し	Q3 実績
売上高	10,530	10,703	9,458	10,007	13,168	13,811	12,700	9,186
設備投資額	243	288	207	448	816	2,257	778	341
構成比%)	2.3%	2.7%	2.2%	4.5%	6.2%	16.3%	6.1%	3.7%
減価償却費	466	407	393	294	303	414	552	389
構成比%)	4.4%	3.8%	4.2%	2.9%	2.3%	3.0%	4.4%	4.2%
研究開発費	212	254	225	172	250	308	393	294
構成比%)	2.0%	2.4%	2.4%	1.7%	1.9%	2.2%	3.1%	3.2%

売上高及び設備投資・減価償却費の年度推移



管理部門にとどまらず、現場にまで
企業価値向上の目標数値を落とし込む

MAVY'Sとは (ROIC - WACC)

Maximizing
Added
Value of
Yamashin Filter
Spread

投下資本の利潤最大化を目指し、
各責任部署が (KPI) を設定し
業務に取り組む (KSF) ための
最重要指標 (KGI)

MAVY's
スプレッド拡大により
ステークホルダーの期待に応える

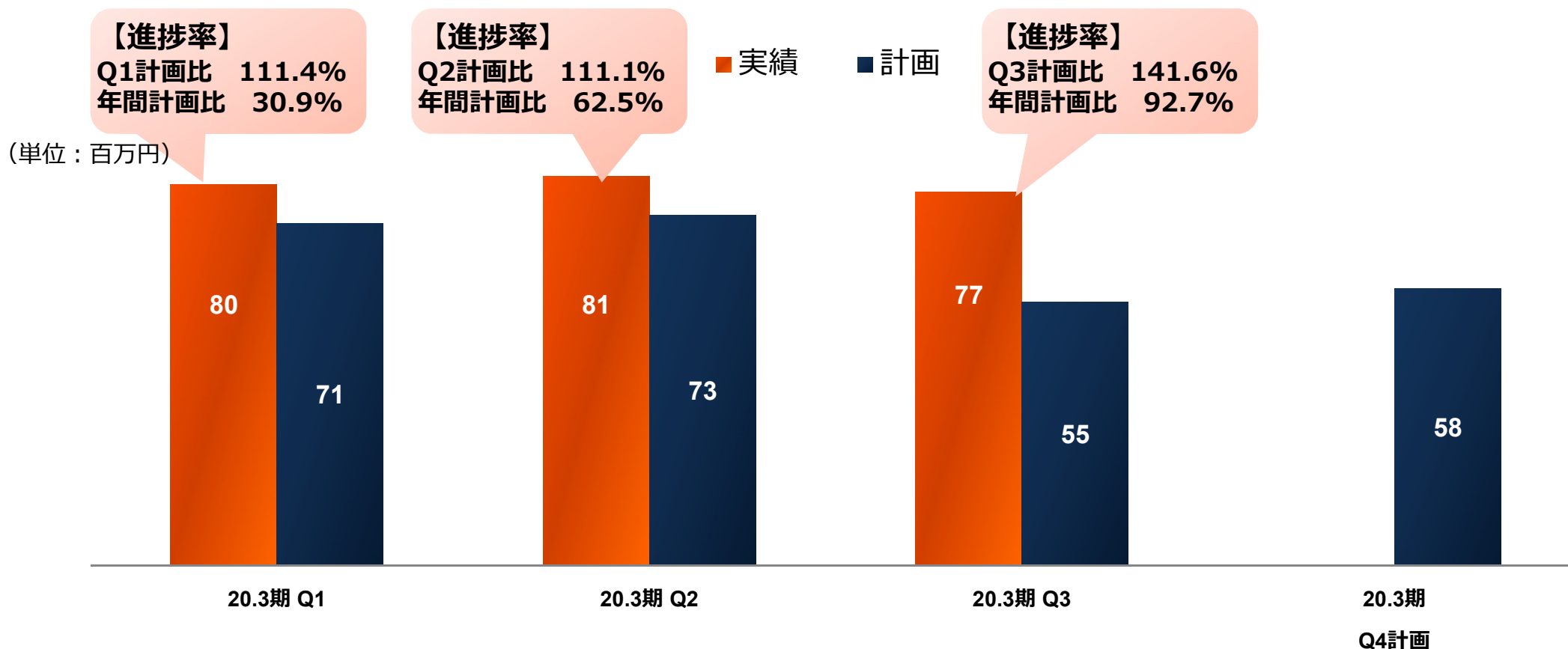
各指標に対して、担当部署を
割り振り、各KPIを設定して
目標達成に向けた業務運営を
全社にて行う

Key Goal Indicator (KGI)	Key Performance Indicator (KPI)	Key Success Factor (KSF)	責任部署	20.3期部門目標 (action plan)	20.3期第3四半期進捗																																																							
MAVY's Prv: 0.0% Cur: -7.4%	売上高営業利益率 Prv: 14.2% Cur: 6.9%	ROIC Prv: 7.8% Cur: 2.5%	売上総利益率 Prv: 46.9% Cur: 44.8%	売上高伸長率 Prv: 4.9% Cur: -8.0%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	<ul style="list-style-type: none"> 中国企業への参入拡大・加速 エアフィルタラインナップによる製品・提案力強化 新規事業領域への進出 	<ul style="list-style-type: none"> 中国系建機メーカー向け新機種採用実績向上 アパレル業界向け量産供給開始、提案継続 ハイブリッドフィルタの各社提案進捗 建機向けエアフィルタ、空調用エアフィルタ製品化進展 																																																				
									WACC Prv: 7.8% Cur: 9.9%	売上原価率 Prv: 53.1% Cur: 56.0%	購買力強化 歩留り改善	生産・購買	<ul style="list-style-type: none"> PAC19 購買手法の改革改善 生産管理の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 購買先の評価基準の見直しと集約実施完了見込み 共通購買(アクシー)による調達コスト削減 計画的な保守・保全実施による歩留まり改善・製造原価削減実行進展 																																														
															ROE Prv: 8.1% Cur: 2.5%	減価償却費率 Prv: 2.8% Cur: 4.4%	投資計画	経営企画 財務経理	<ul style="list-style-type: none"> M&A(収益拡大・経営安定化手段) →エアフィルタ会社買収(完了) →不織布事業体買収(下流) →新素材開発企業買収(上流) 	<ul style="list-style-type: none"> アクシー買収完了、PMI進捗 来期に向けた国内外のM&Aデータの収集並びに潜在可能性あるM&A先とのコミュニケーションの強化(電話会議等) 																																								
																					ROA Prv: 6.8% Cur: 2.2%	販管費率 Prv: 32.7% Cur: 37.1%	研究開発費率 Prv: 2.2% Cur: 3.1%	テーマの絞り込み 優先順位	開発	<ul style="list-style-type: none"> 新素材の開発 IoTの取り組み エアレーション他技術開発 	<ul style="list-style-type: none"> ナノファイバー製エアフィルタ製品化加速 各得意先各種センサー試験品供給 産学連携による新素材開発の加速 																																	
																												投下資本回転率 Prv: 0.8 Cur: 0.7	人件費率 Prv: 13.5% Cur: 15.9%	最適な人員構成	人事・総務	<ul style="list-style-type: none"> タレントマネジメント制度策定・運用 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代マネジメント層の発掘 製品開発に向けた研究要員の増員 事業再編にかかる職業専門家スタッフの採用 																											
																																		運転資本回転率 Prv: 3.5 Cur: 5.9	売上債権回転率 Prv: 4.2 Cur: 3.7	債権管理	営業 財務経理	<ul style="list-style-type: none"> 債権回収率の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 運転資金改善に向けた債権回収の効率化・合理化対応 																					
																																								固定資産回転率 Prv: 3.0 Cur: 2.4	棚卸資産回転率 Prv: 6.6 Cur: 10.7	適正在庫の設定	生産 営業	<ul style="list-style-type: none"> 全社棚卸資産の圧縮 	<ul style="list-style-type: none"> 棚卸資産のパレート分析に基づく適正在庫量の決定ならびに削減計画の実行中 															
																																														無形固定資産回転率 Prv: 36.4 Cur: 35.6	仕入債務回転率 Prv: 5.2 Cur: 5.2	債務管理	購買 生産	<ul style="list-style-type: none"> ワーキングキャピタル改善 	<ul style="list-style-type: none"> 運転資金の改善に向けた債務支払い回転率の適正化 									
																																																				有形固定資産回転率 Prv: 5.3 Cur: 3.3	設備計画 (R&D・生産)	経営企画 総務・生産・開発	<ul style="list-style-type: none"> 投資回収効果最適化 	<ul style="list-style-type: none"> 投資収益回収期間の妥当性分析による開発及びR&D投資、優先判断の実行 				
																																																									知財戦略	経営企画 法務(知財)	<ul style="list-style-type: none"> 知財戦略の策定とアクションプランの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 戦略の作成と行動計画の立案及び関係者への研修強化 中国市場での積極的の特許出願

- 生産技術・管理・システムの総合的な改善を実施し、利益体制の強化を図る

PAC19	P romptly 迅速	A ctivated かつ効果的な	C ost reduction コスト削減計画	2019
--------------	------------------------	-----------------------------	-----------------------------------	-------------

サプライチェーン見直し、工程改善等により、原材料費削減が進捗



2020年3月期 通期業績予想



	2019年3月期 実績	2020年3月期 期初予算	2020年3月期 修正予算 (2019年11月6日公表)	2020年3月期 見通し (2020年2月5日公表)	2020年3月期 見通し (2020年2月5日公表)	2020年3月期 期初予算対 2020年3月期見通し
	金額	金額	金額	金額	金額	金額
(単位：百万円)						
売上高	13,811	13,000	13,400	12,700	12,700	△300
建機用フィルタ事業	13,811	13,000	12,000	11,300	11,300	△1,700
エアフィルタ事業	-	-	1,400	1,400	1,400	1,400
営業利益	1,963	1,650	1,250	880	880	△770
建機用フィルタ事業	1,963	1,650	1,120	750	750	△900
エアフィルタ事業	-	-	130	130	130	130
営業利益率	14.2%	12.7%	9.3%	6.9%	6.9%	5.8Pt
経常利益	1,915	1,600	1,135	685	685	△915
経常利益率	13.9%	12.3%	8.5%	5.4%	5.4%	△6.9Pt
当期純利益	1,413	1,100	800	460	460	△640
純利益率	10.2%	8.5%	6.0%	3.6%	3.6%	△4.8Pt
為替レート AR USD	110.9	108.0	108.0	108.0	108.0	-
EUR	128.4	130.0	130.0	130.0	130.0	-

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

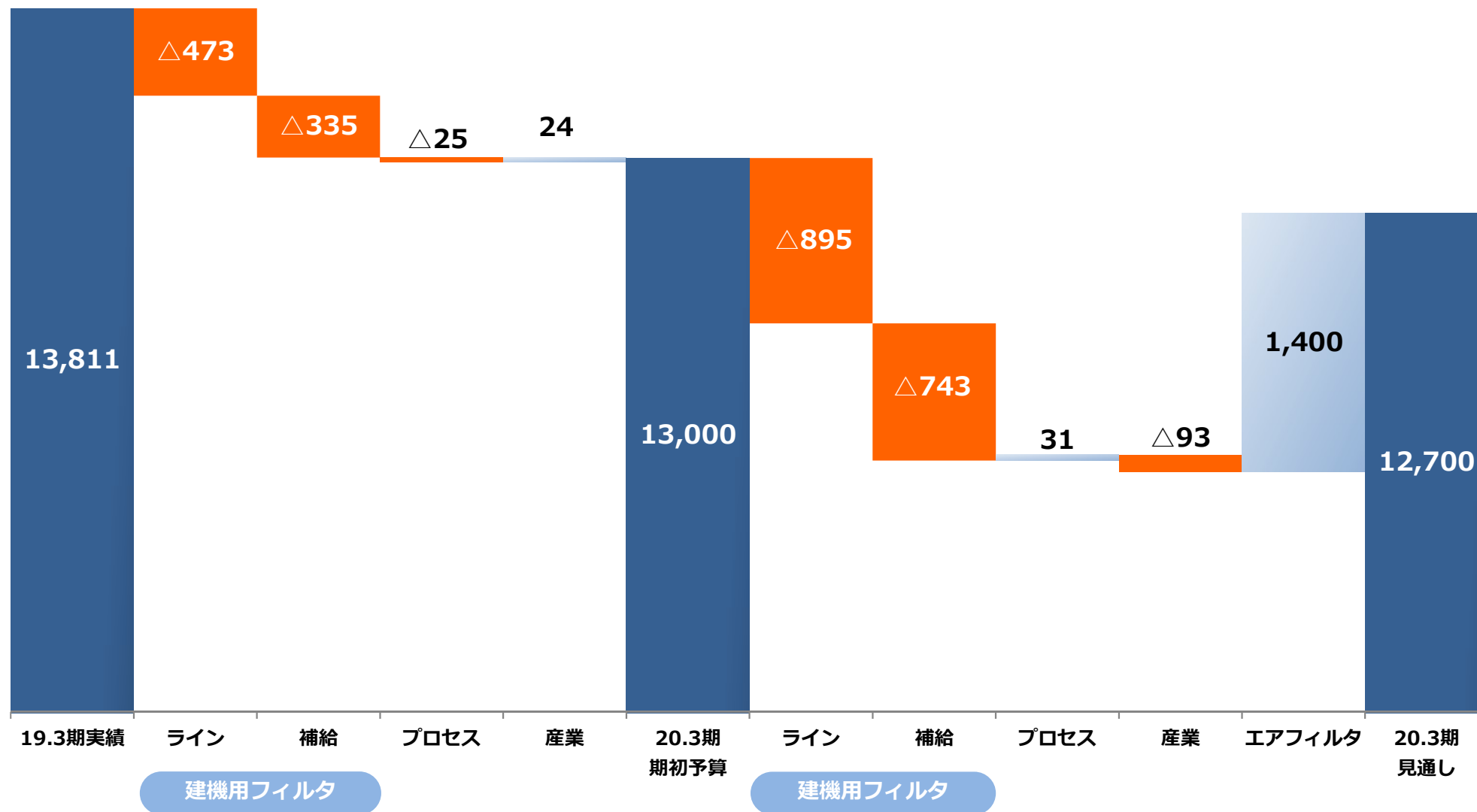
	2019年3月期 実績		2020年3月期 期初予算		2020年3月期 見通し (2019年11月6日公表)		2020年3月期 見通し (2020年2月5日公表)		2020年3月期 期初予算対 2020年3月期見通し	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
建機用フィルタ	12,353	89.4%	11,543	88.8%	10,511	78.5%	9,905	78.0%	△1,637	△14.2%
ライン品	5,535	40.1%	5,062	38.9%	4,550	34.0%	4,167	32.8%	△894	△17.7%
補給品	6,817	49.3%	6,481	49.9%	5,961	44.5%	5,738	45.2%	△742	△11.5%
産業用フィルタ	548	4.0%	572	4.4%	537	4.0%	479	3.8%	△92	△16.1%
プロセス用フィルタ	909	6.6%	883	6.8%	950	7.1%	914	7.2%	31	3.6%
既存ビジネス 合計	13,811	100.0%	13,000	100.0%	12,000	86.9%	11,300	89.0%	△1,700	△13.1%
新規ビジネス (エアフィルタ)	-	-	-	-	1,400	10.4%	1,400	11.0%	1,400	-
売上高合計	13,811	100.0%	13,000	100.0%	13,400	100.0%	12,700	100.0%	△300	△2.3%

	2019年3月期 実績		2020年3月期 期初予算		2020年3月期 見通し (2019年11月6日公表)		2020年3月期 見通し (2020年2月5日公表)		2020年3月期 期初予算対 2020年3月期見通し	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
国内既存 (建機用フィルタ)	6,541	47.5%	6,058	46.6%	5,723	42.7%	5,324	41.9%	△733	△12.1%
北米	2,253	16.3%	2,438	18.8%	2,451	18.3%	2,350	18.5%	△87	△3.6%
中国	1,813	13.1%	1,480	11.4%	1,229	9.2%	1,217	9.6%	△262	△17.8%
アジア	1,741	12.6%	1,694	13.0%	1,498	11.2%	1,356	10.7%	△337	△19.9%
欧州	1,454	10.5%	1,298	10.0%	1,087	8.1%	1,036	8.2%	△261	△20.1%
その他（中東他）	6	0.0%	29	0.2%	11	0.1%	14	0.1%	△14	△49.6%
既存ビジネス 合計	13,811	100.0%	13,000	100.0%	12,000	89.6%	11,300	89.0%	△1,700	△13.1%
国内新規 (エアフィルタ)	-	-	-	-	1,400	10.4%	1,400	11.0%	1,400	-
売上高合計	13,811	100.0%	13,000	100.0%	13,400	100.0%	12,700	100.0%	△300	△2.3%

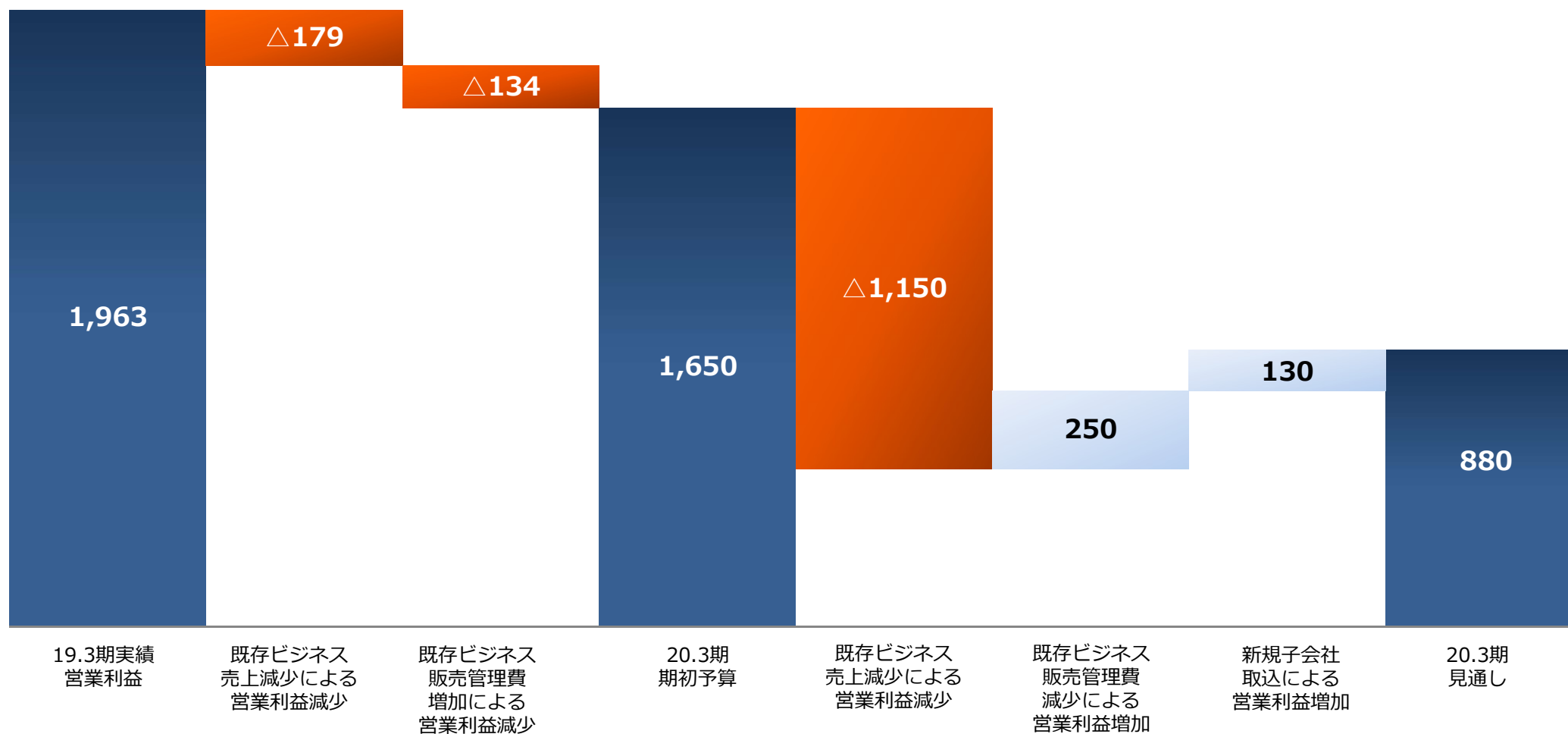
※当社の請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含みます

(単位：百万円)



(単位：百万円)



為替は完全マリーが継続している。為替感応度0.5%を実現



取引通貨の7割はJPY

USDは為替マリーを実現

- 為替が1円円高になった場合の営業利益影響額は約3百万円減益

中間配当 3.0円、期末配当3.0円の年間6.0円据え置き

	17年3月期	18年3月期	19年3期	20年3月期 予想
1株当たり 配当金	2.4円※1	3.6円※1	6.0円	6.0円
DOE	2.3%	1.9%	2.4%	2.3%
総還元性向※2	25.6%	21.6%	31.9%	96.6%

注) 2017年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております

※1 2017年3月期、2018年3月期の配当額については、参考値として上記株式分割後の金額を記載しております

※2 総還元性向 = (配当総額 + 自己株式取得 + 株主優待) ÷ 当期純利益



II

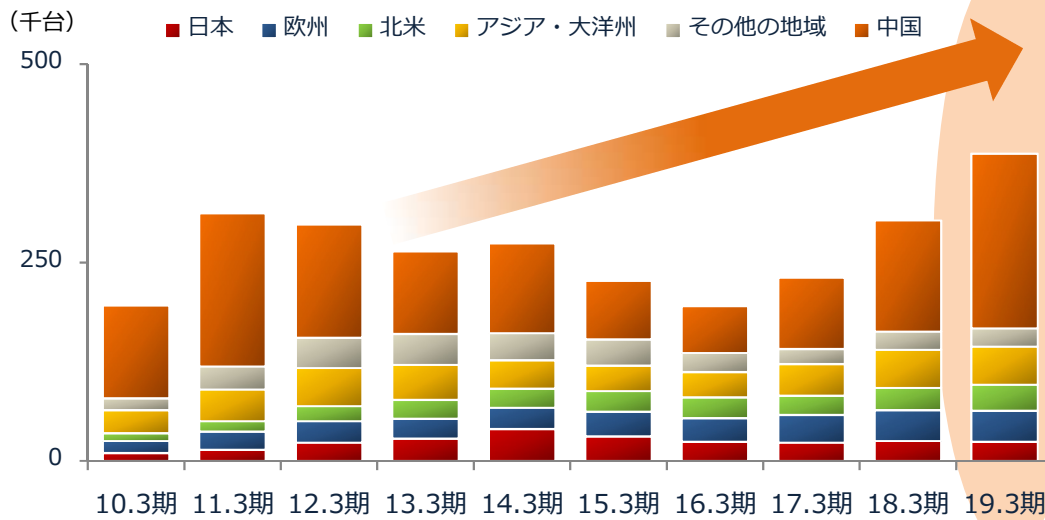
“建機市場を取り巻く環境”

- 中国経済の減速が伝えられる中、政府は公共投資を対策として実施。
- 世界の建機市場の5割強を占める中国市場において、当社主要得意先各社のシェア縮小が継続し、新車生産計画を下方修正、補給品在庫持ち高調整を実施

	2020/3 2Q	2020/3 3Q	今後の見通し
中国	インフラ投資拡大に伴い堅調に推移 中国系建機メーカー台頭	インフラ投資拡大に伴い堅調に推移 中国系建機メーカー台頭が進行	政府主導による公共投資下支え継続 Tier4環境規制に伴う特需、 新型肺炎の感染拡大リスク
東南アジア	国政選挙影響により需要は一時的に減少 中国系建機メーカー台頭	インフラ整備等の潜在需要は堅調 中国系建機メーカー台頭が進行	インフラ整備等の潜在需要は堅調
北米	米中貿易摩擦懸念あるが 需要は堅調に推移	米中貿易摩擦懸念は短期的に鎮静化 需要は堅調に推移	需要は堅調に推移すると見込む
日本	設備投資・公共投資増加基調 需要は前年並み	設備投資・公共投資増加基調 需要は前年並み	需要は前年並みと見込む
欧州	EU離脱問題先行き不透明も 需要は堅調に推移	EU離脱問題の不透明感は払拭 需要は若干減少	需要は堅調に推移すると見込む

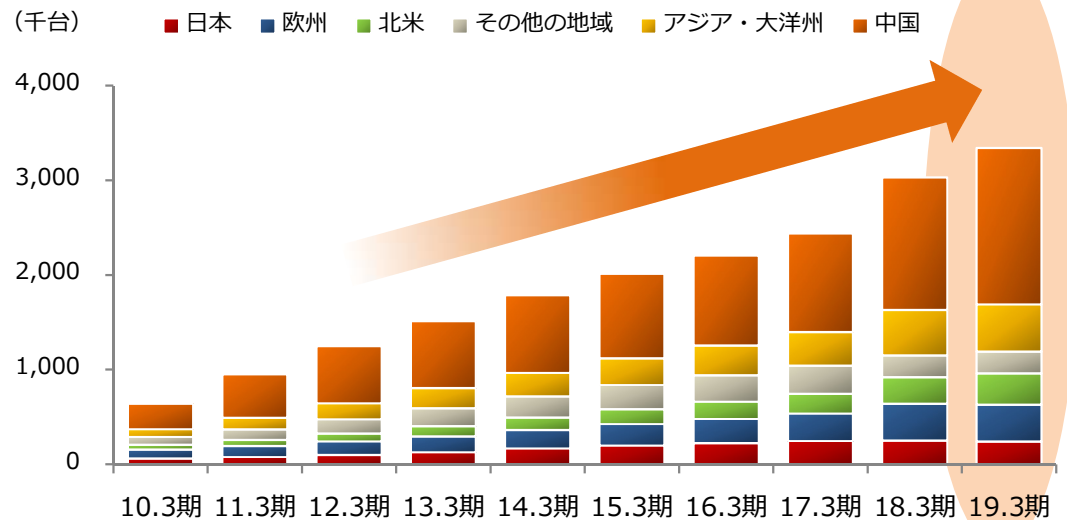
中国・排ガス規制(Tier4)と堅調な新車需要の推移

新車需要



(各建機メーカーおよび工業会公表データより当社推計)

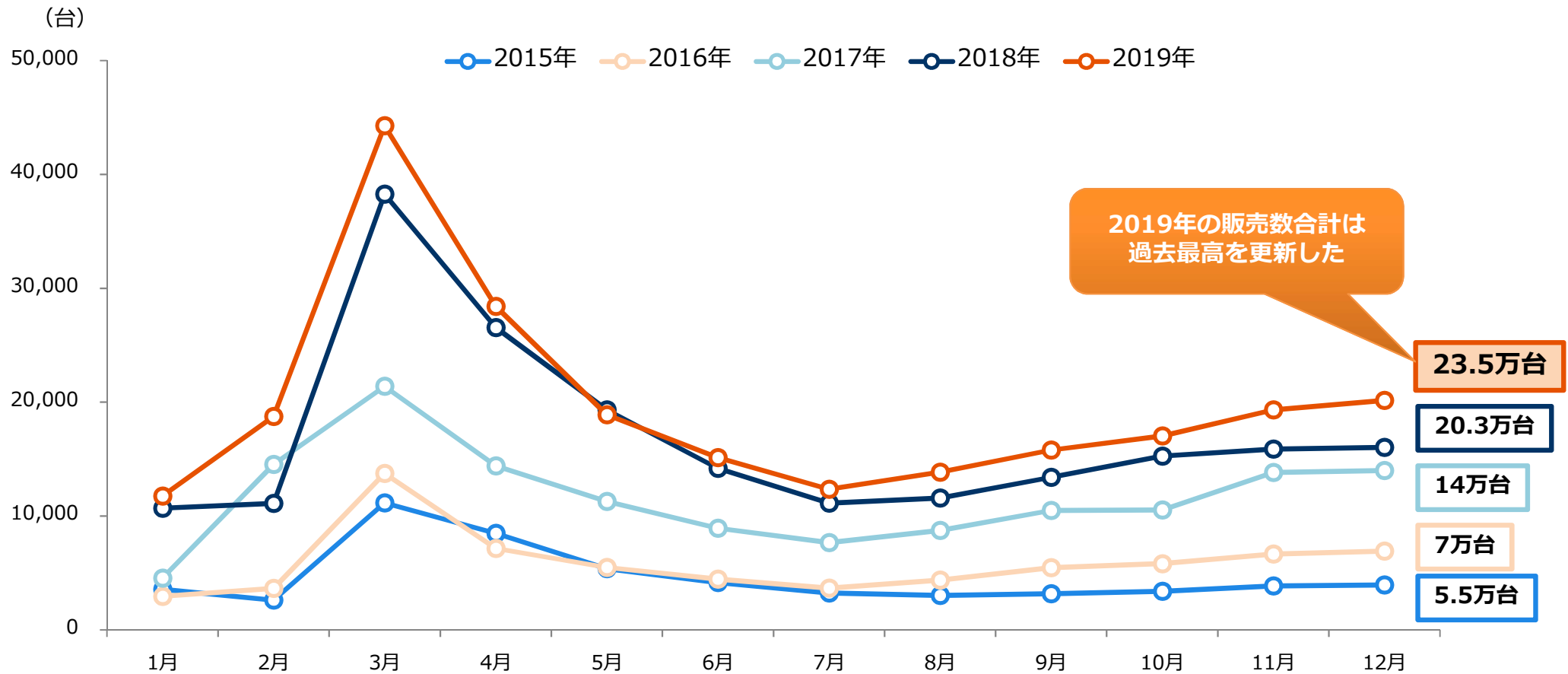
累積稼働台数



- 中国・東南アジア中心に、建設・資源需要の旺盛な市場の新車需要は来期に向け堅調に推移すると見込む。
- 建機の累積稼働台数の拡大により、アフターマーケット市場が活性化すると予測する。

中国建機需要は今年も旺盛に推移

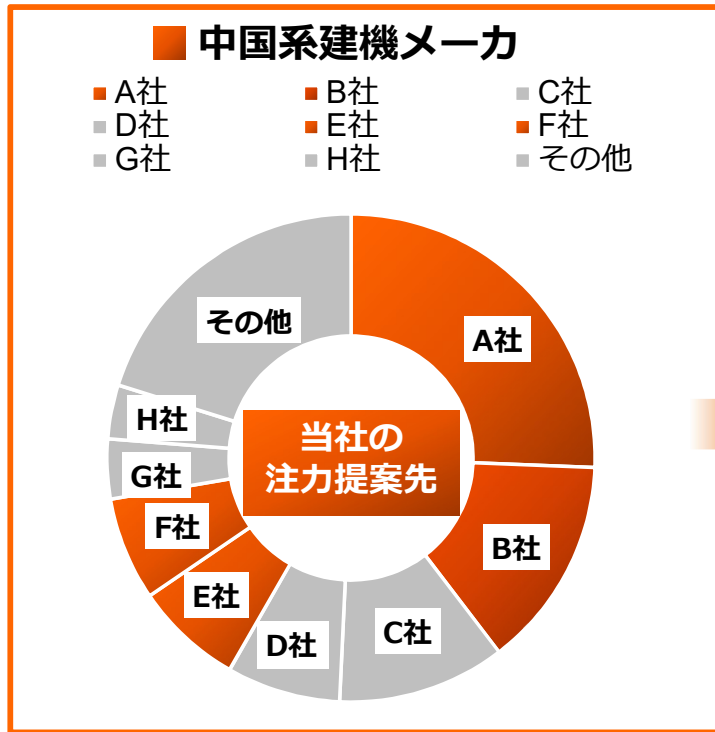
年別販売推移（月別）



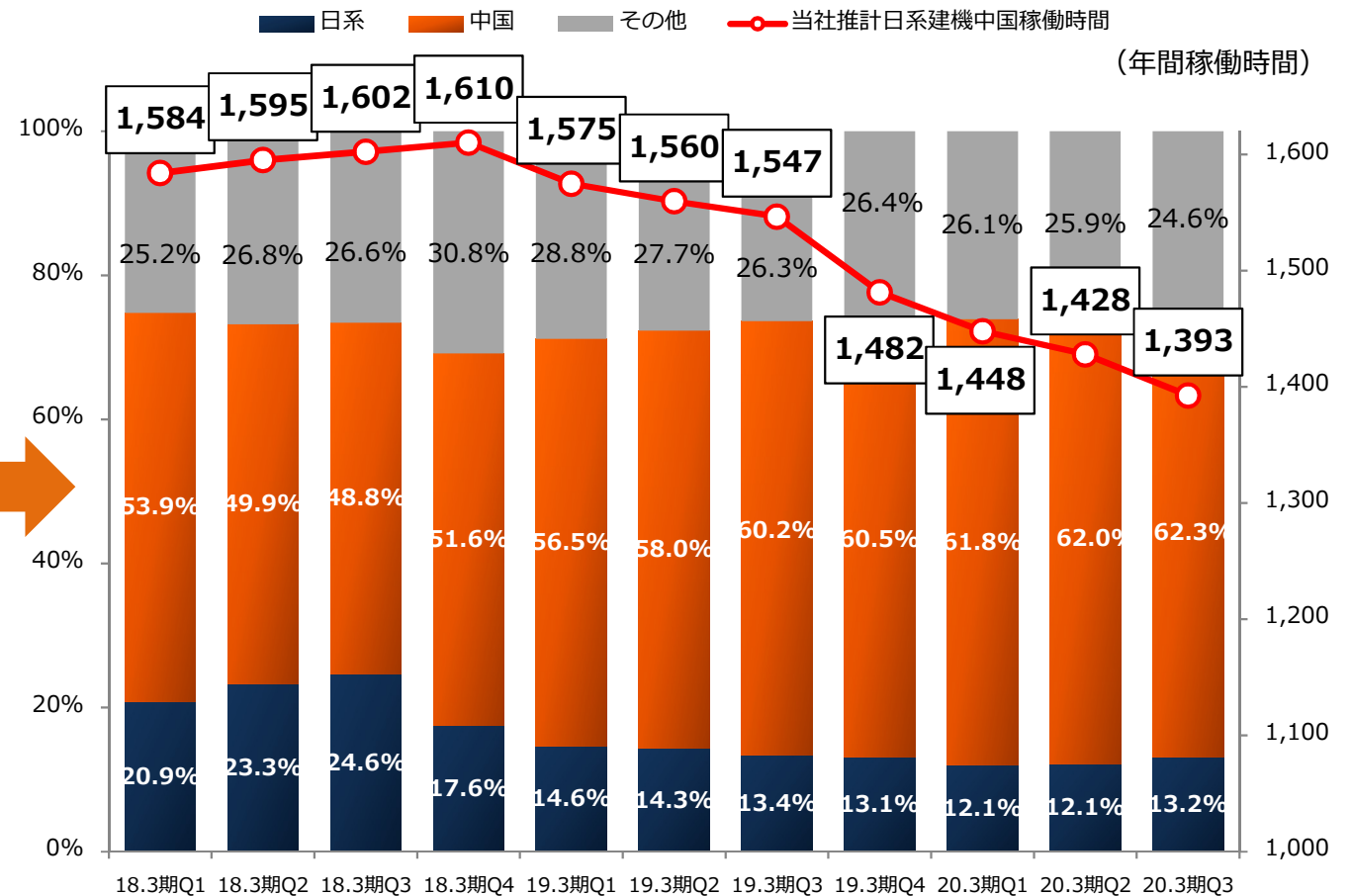
(各建機メーカーおよび工業会公表データより当社推計)

日系建機メーカーのシェアが下がり、中国系建機メーカーのシェアがUP

中国建機市場における、
主要建機メーカーシェア

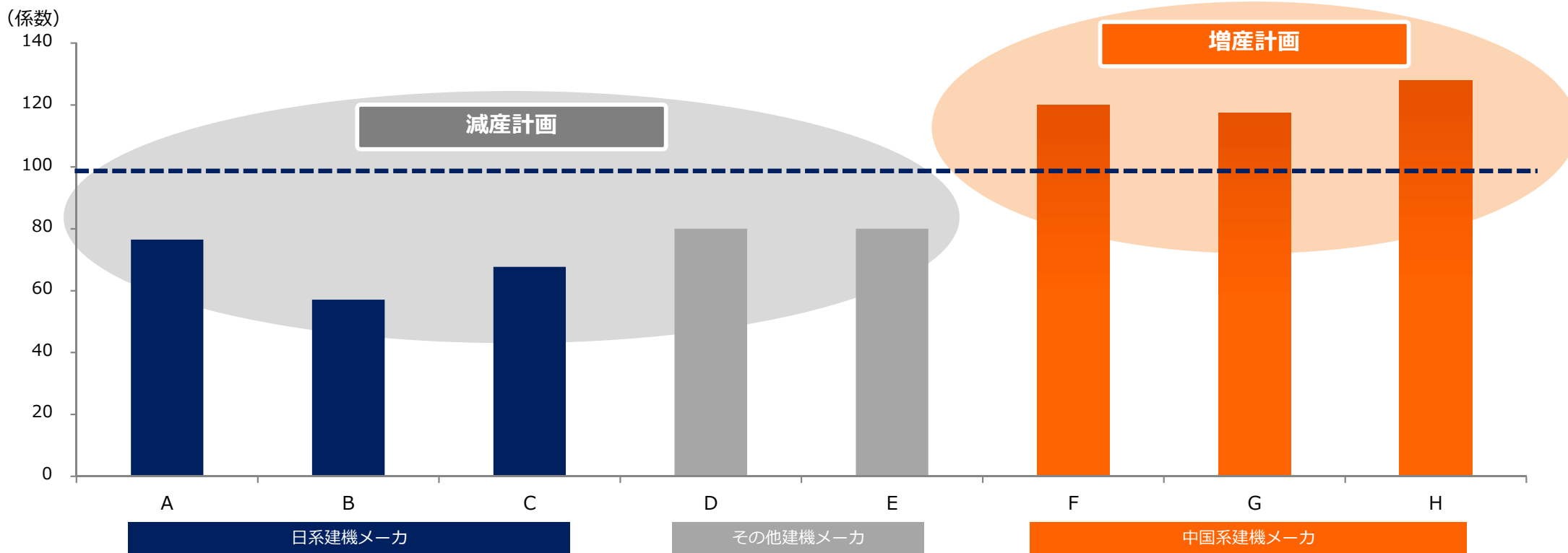


中国市場 販売シェア推移



日系・その他メーカーが軒並み減産計画に対し、
中国系建機メーカーは大幅な増産を計画。

中国・アジア市場における
主要建機メーカー工場生産計画係数



(各建機メーカーおよび工業会公表データより当社推計) 前期実績を100に係数化

中国系建機メーカーへの提案に注力し、シェアを拡大する

ライン品売上拡大計画

中国国内市場規模
約**44**億円

補給品売上拡大計画

中国国内市場規模
約**84**億円

当社製品採用ニーズの高まり

- ◆ 中国政府主導によるインフラ投資の拡大基調継続
- ◆ 第4次環境規制開始（2020年12月以降予定）に伴う当社独自技術の需要増加
- ◆ エンドユーザの消費マインドが価格重視から品質重視に変化
- ◆ 新車累積販売台数の増加に伴うアフターマーケット規模は大幅に拡大
- ◆ 中国系建機メーカーの海外展開に伴うグローバルサプライヤのニーズの高まり



ライン品売上拡大に向けた取り組み

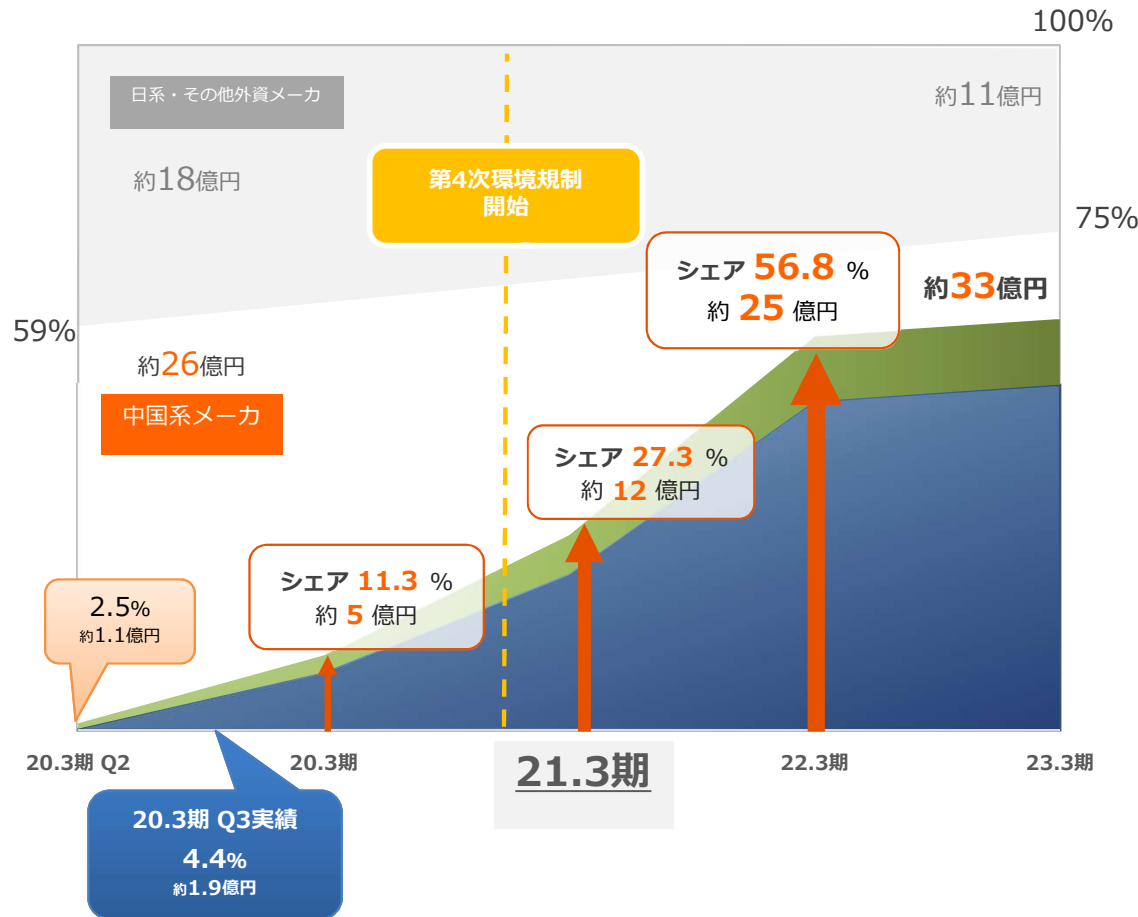
- ◆ 製品ラインナップの拡大と価格戦略
高付加価値製品（ロングライフ、IoT）の供給
既存製品拡販に向けた価格戦略の展開

補給品売上拡大に向けた取り組み

- ◆ 当社ブランドを使用した販売戦略の展開
メーカー保証期間終了後、販売代理店との直接取引

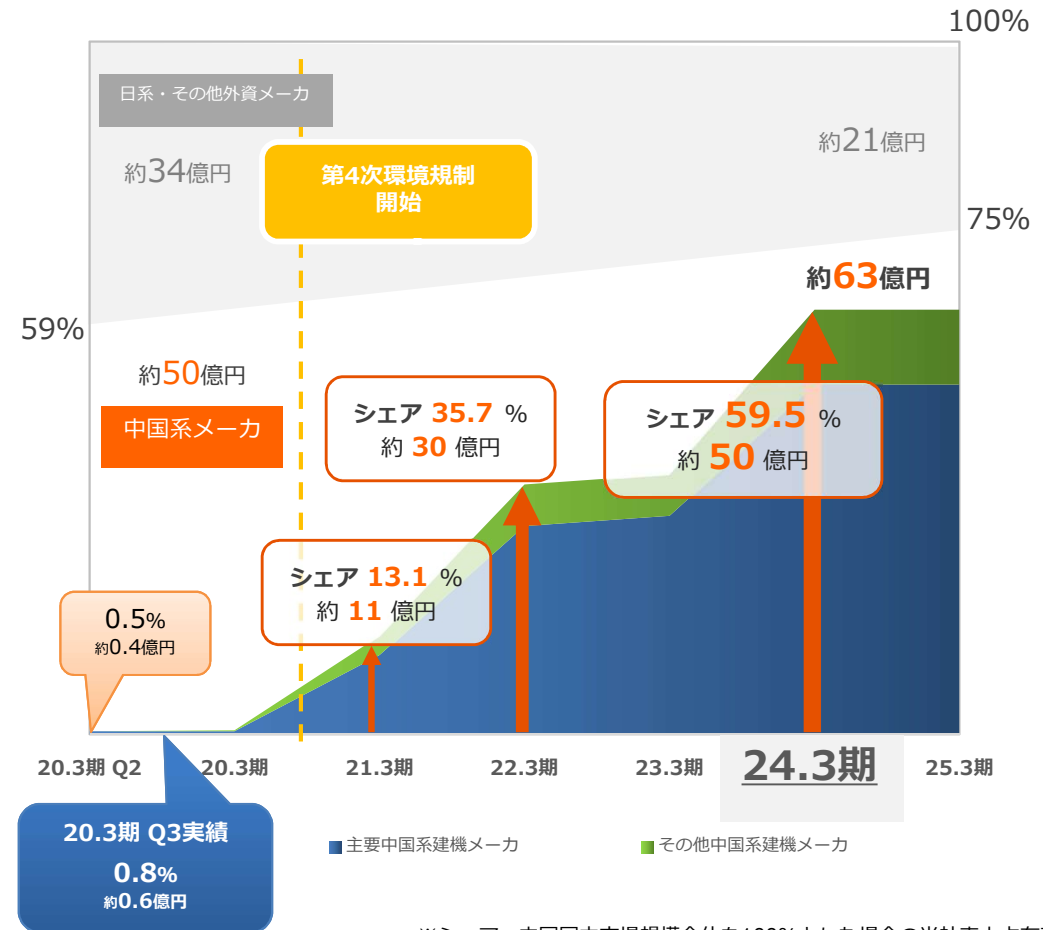
ライン品売上拡大計画

中国国内市場規模
約**44**億円



補給品売上拡大計画

中国国内市場規模
約**84**億円



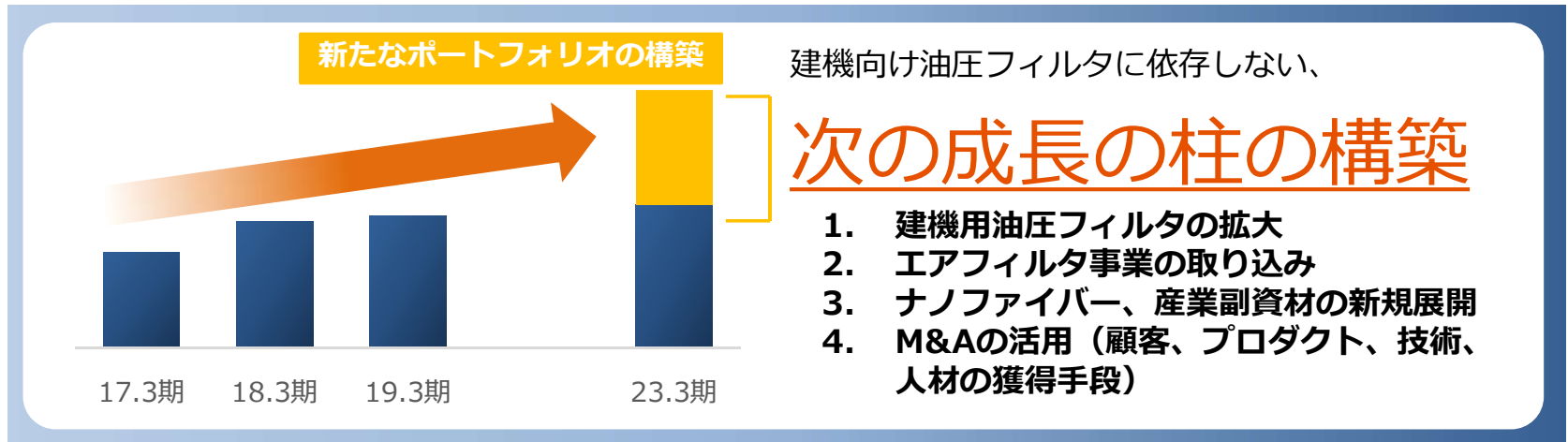
※シェア：中国国内市場規模全体を100%とした場合の当社売上占有率



III 今後の戦略

専門フィルタメーカーから総合フィルタメーカーへの飛躍

事業ポートフォリオの拡大



収益性の改善

マルチプルな生産体制の構築 グローバル・サプライチェーンの再構築

1. 『PAC』によるコストの低減
2. R&D拠点への大型投資
3. 主要マーケットでの生産拠点開発投資および物流拠点の最適化



時価総額 1兆円、売上高1,000億円を目指す

新素材・新技術によって付加価値を向上

＜建機市場＞
付加価値向上で
マーケット
シェアアップ

稼働時間 3倍

ハイブリッドフィルタ
ガラス繊維×ナノファイバー



・従来品の3倍のライフ
・廃棄物削減、建機寿命の延長を実現



エアレーション対策システム

スマートタンク

・建機油圧回路内の気泡発生を抑制
・顧客と共同で実機テストを実施中



IoTによる「故障予知」を実現

清浄度センサ

- ・油、水の清浄度測定
- ・低コスト
- ・コンパクト設計

SWIFTRock™

ライフセンサ

どのくらいフィルタにゴミが詰まっているか、段階的なモニタリングを行う



統合による効果

建機用エアフィルタ



・従来の建機用のフィルタだけではなく、建機用エアフィルタ分野にも製品展開

＜他業種＞
新素材を展開



2017年に
量産化技術の手法を確立

- ・一般的な合成繊維の 1/10 のごく細い繊維を、立体構造化・シート化する技術は当社オリジナル
- ・ ① 極薄特性、② 保温性能、③ 調湿機能に優れ、素材供給によってビジネス領域の拡大が可能

専門の営業部門の新設、製造ラインの増設により、新市場へ対応

顧客との密なコミュニケーションにより製品ラインナップを充実させ、
満足度・信頼度の向上を図り、製品需要の拡大を目指す

① アパレル用途



【実績】

国内紳士服大手 2 社様のコート中綿として採用

【開発ターゲット】

ストレッチ性の付加による快適度の向上
加熱による縮みの改善
軽さの追求

② 家電用途



【要望】

ガラス繊維で対応しているものの置換

【開発ターゲット】

更なるファイバー間の緻密さ・極細化の追求
線維化時の雰囲気温度の高温化の改善
ロングライフ化エアフィルタとしてエレクトリック加工

③ 自動車内装用途



【要望】

現行品の性能（低周波）以上の吸音材開発

【開発ターゲット】

コスト競争力の強化
量産供給体制の整備
製品化の具体的な加工、管理方法の検討

④ 生活用品用途



【実績】

現行品よりも高い断熱性、保冷性

【開発ターゲット】

軽さの追求
抗菌、消臭機能などの付加価値の添加
試作品の作製と、実験データの継続的な取得

R&D一貫体制の確立と、マルチプルな生産体制を構築

研究開発センターの 新設 (横須賀市)



横浜開発センター、佐賀事業所、横須賀メディアラボの**研究開発機能を集約** (2022年竣工予定)

実機試験場を整備し、
顧客要求を迅速に反映



生産拠点の 見直し・再編



フィリピンに大きく依存した生産体制を見直し、**安定的・効率的な製品の供給体制**へ再編を実施。

供給体制へ再編を実施。

既存拠点の見直しを含め、

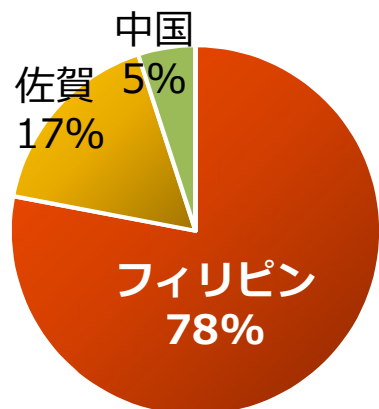
製品供給機能・生産機能・開発

機能を適切に連携させる

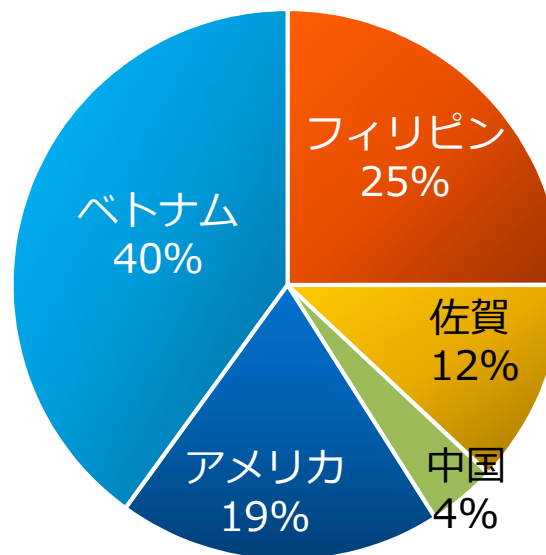
マルチプル生産体制の確立

拠点別生産比率 移行計画

2019年3月期 実績



2024年3月期 計画



生産能力はおよそ3倍を想定

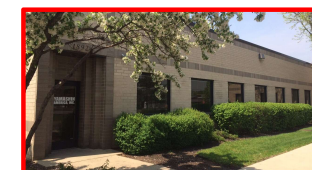
- 原材料の現地調達率の向上、製造原価の最適化による利益の最大化を図る。
- BCP(事業継続計画) の一環として、生産拠点を分散する。



【ベトナム】
ハノイ・第3タンロン団地
2021年4月竣工、
2021年10月量産開始（予定）



【佐賀】
2021年7月量産開始に向け
工場増設計画進行



【アメリカ】
2020年3月よりEMSでの
量産開始予定



【中国】稼働中



【フィリピン】稼働中

エアフィルタ事業の新拠点を取得

- 「YAMASHIN NANO FILTER™」を用いた新製品の生産拡張及び応用技術開発に対応
- アクシーの高収益化、ヤマシングループへの安定的な業績の貢献に寄与



咲洲全景（大阪市港湾局より）

所在地	大阪府大阪市住之江区南港北1丁目2-29
土地	11,900.02㎡
建物	鉄筋コンクリート造 5階建 (延床面積) 11,180.25㎡
不動産売買契約締結日	2020年2月4日（火）
物件引渡日	2020年2月28日（金）予定
取得価額	非公表 (当社の19.3期末日における連結純資産の30%未満であり、市場価格を踏まえて決定)

※詳細は、2020年1月28日「連結子会社における固定資産の取得に関するお知らせ」をご参照ください

建設機械フィルタの専門メーカーから 「総合フィルタメーカー」への飛躍を加速



エアフィルタ



(販売・生産)

建機

YCF
(生産)

YAI
(販売・生産)

YTL
(販売)

YEB
(販売)

YST
(販売・R&D)

ナノファイバー
産業副資材

アパレル

家電

自動車内装

生活用品

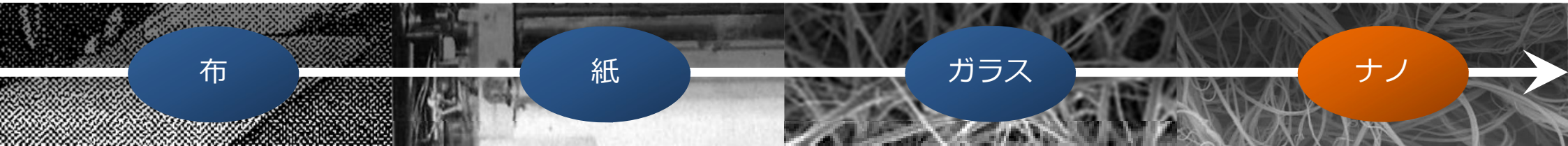




参考資料

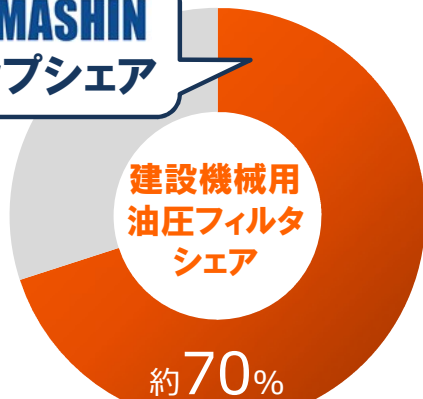
① 当社基本情報

建設機械の進化に応じた、革新的なる材の研究開発力



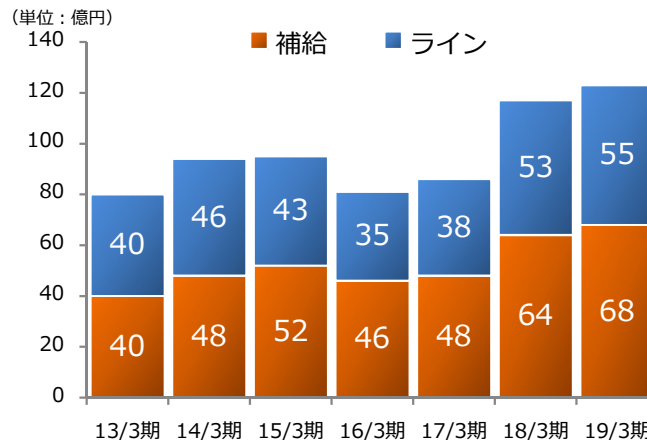
建機用油圧フィルタ市場での圧倒的なシェア

YAMASHIN
トップシェア

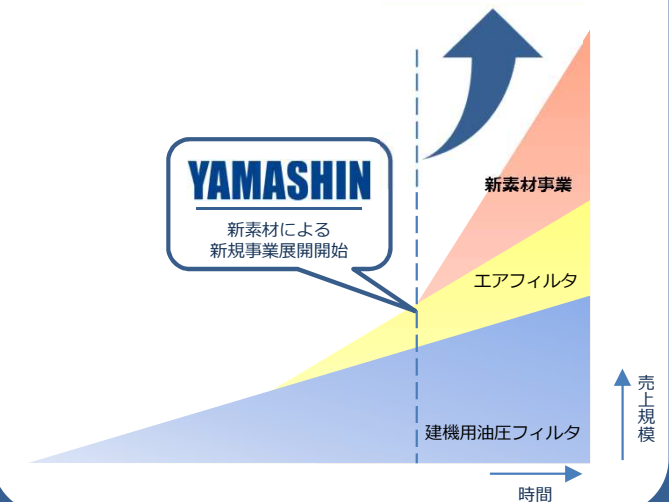


国内における主要建機向け油圧フィルタ売上シェア（2012年度）
出典：矢野経済研究所

新車需要・交換需要を取り込む安定的な収益構造



新たに開発した革新素材によるビジネス領域の拡大



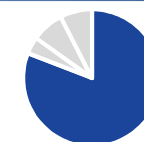
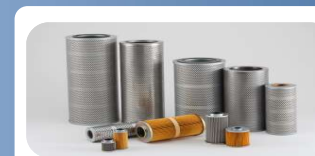
- 当社は効率的なインフラの整備に貢献してきた。
- 高い品質と豊富な実績に下支えされ、グローバル展開する日本・欧米・中国の大手建機メーカーに多くの製品が採用されている。

当社グループの概要

当社グループは、フィルタのキーパーツである「ろ材」の主な材料であるガラス繊維や不織布及びフィルタの構成部品に使用される金属加工品や樹脂加工品等の仕入を行い、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタ、エアフィルタを製造しております

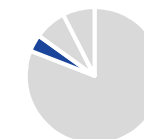
建機用フィルタ分野

建機の駆動に不可欠である油圧回路の作動油、燃料のディーゼル・オイル、エンジン駆動に必要な潤滑油のろ過に用いられるフィルタ
用途：様々な種類の建機



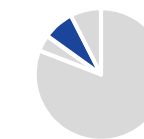
産業用フィルタ分野

様々な業界に応用されている油圧ユニットの作動油や潤滑油のろ過に用いられるフィルタ
用途：工作機械、冷凍用圧縮機、農業機械、船舶、鉄道車両、航空機やヘリコプター等の産業機械



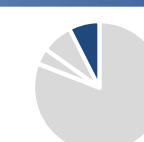
プロセス用フィルタ分野

顧客製品の製造工程で行われるろ過・分離に必要なフィルタ
用途：電子部品、精密部品、液晶ディスプレイや食品等の業界



エアフィルタ分野

粗塵、中高性能のエアフィルタ
用途：一般ビル、ホテル、各種工場等の除塵・脱臭等



建設機械の稼働に不可欠なフィルタ 多様多彩なラインナップを提供

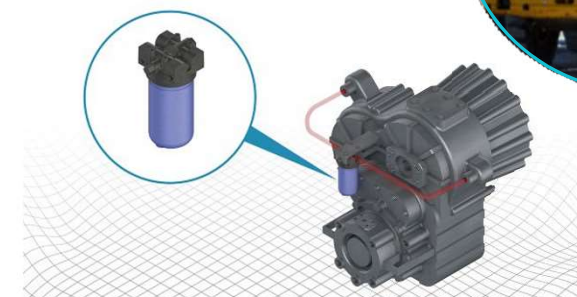
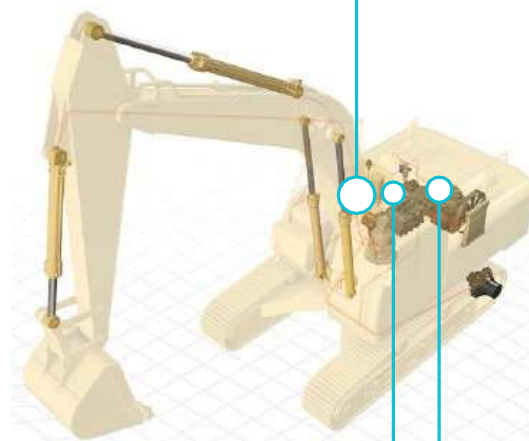
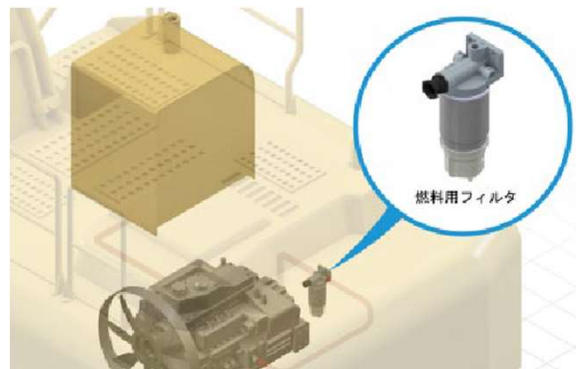


油圧用

シリンダー等の油圧機器の保護を目的に、建機に複数搭載されるフィルタです。建機の故障の原因は、約7割がオイル内のダストによる機器破損といわれています。当社では、創業以来のノウハウで最適なフィルタを提供しています。

燃料用

ディーゼル燃料に混入したダストの除去を目的としたフィルタです。昨今、世界的に進んでいる排ガス規制をきっかけに、燃料に求められる清浄度が高まっています。粗悪燃料が蔓延している新興国では、特に需要増が見込まれています。

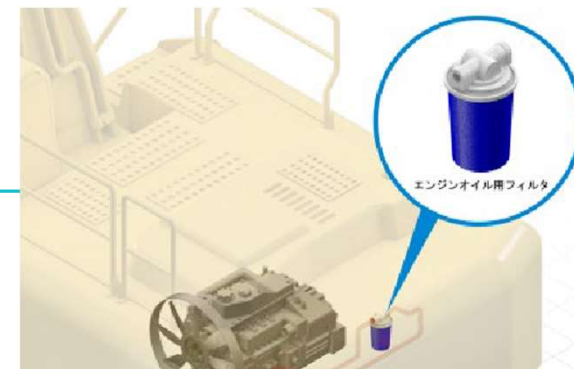


トランスミッション用

トランスミッション（変速機）機構を持つ建機に搭載されるフィルタです。トランスミッションは複数のギアで構成されるため、ギア同士の摩擦で金属粉等のダストが発生します。当社では自社製「ろ材」によってこのダストを適切にろ過し、機器のダメージを防ぎます。

エンジンオイル用

建機の各種エンジンに搭載されるフィルタです。エンジンの内部では動力を発生させるためにピストン等が高速運動をしています。エンジンオイル用フィルタは、その際に混入する摩耗（金属）粉やスラッジ（堆積物）等を除去し、性能低下や破損リスクを低減します。



セグメント と KPI

- 建機用フィルタは「**ライン品**」と「**補給品**」に分かれる
- ライン品は新車搭載用のフィルタ。重要指標は「**新車需要台数**」
- 補給品は交換部品用のフィルタ。重要指標は「**稼働台数**」×「**稼働時間**」

販売形態 地域別動向 コスト削減

- **販売形態**
建機用フィルタの売上は、建機メーカーへの直接販売。エンドユーザーへの直販は基本的に行っていない
- **地域別動向**
地域別売上高は参考値。当社請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と異なる
- **PAC19 (Promptly Activated Cost reduction 2019)**
全社的なコスト削減プロジェクト

用語	計算式
MAVY's	ROIC - WACC
ROIC	NOPAT ÷ 投下資本
投下資本利益率	(経常利益+支払利息) ÷ 投下資本
運転資本回転率	売上高 ÷ (売上債権+棚卸資産-仕入債務)
固定資産回転率	売上高 ÷ 固定資産
売上債権回転率	売上高 ÷ 売上債権
棚卸資産回転率	売上高 ÷ 棚卸資産
仕入債務回転率	売上原価 ÷ 仕入債務
有形固定資産回転率	売上高 ÷ 有形固定資産
無形固定資産回転率	売上高 ÷ 無形固定資産
Key Goal Indicator(KGI)	当期：累計実績値+予算、前期：年間実績値
Key Performance Indicator (KPI)	累計実績値比較

※貸借対照表項目について期首期末平均で計算しております。

STRENGTH (強み)

- 建機用フィルタ市場における圧倒的なシェア
- **新素材導入による更なるシェア拡大**
- 高い研究開発力
- PAC、MAVY'sによる強固な経営基盤

OPPORTUNITIES (機会)

- 中国市場の拡大、更なるシェア獲得
- **「総合フィルタメーカー」への飛躍によるビジネス領域の拡大 (エアフィルタ, YAMASHIN Nano Filter™)**

WEAKNESS (弱み)

- 売上高の約8割が建機用フィルタに依存
- 人的リソース不足の懸念

THREAT (脅威)

- 建機用フィルタの模倣品増加によるシェア低下
- 中国市場の変調
- プロセス/産業フィルタの成長未達
- **新素材商品展開の遅れ**

総合フィルタメーカーを実現し脱却予定

新素材による模倣品排除

育成事業

エアフィルタ

新素材事業

構造改革事業


STRATEGY MATRIX

基盤事業 (成長)

建機用
フィルタ

基盤事業 (安定)

		主な取り組み	進捗状況
建機 フィルタ	ライン品	<ul style="list-style-type: none"> 故障予知、IoT・ICT技術の提案 新素材を使ったリターンフィルタの提案 中国系建機メーカーへの拡販 	<ul style="list-style-type: none"> 大手メーカー向けにSWIFTROCK™・ライフセンサ搭載提案中。実機試験継続中 新素材を使ったリターンフィルタ量産供給開始 来期以降主要得意先への展開本格化 国営企業2社を中心にTier4規制対応新機種向けに、当社製品（ハイブリッドフィルタ）の採用増加 既存機種に対しての当社製品の採用実績は着実に増加中
	補給品	<ul style="list-style-type: none"> セミナー展開によって非純正品からのシェア向上 	<ul style="list-style-type: none"> 中国系建機メーカー向け補給品として当社製品採用開始 中国系建機メーカー向け補給品市場への進出
	産業・プロセス フィルタ	<ul style="list-style-type: none"> 製品ラインナップの拡充・強化 	<ul style="list-style-type: none"> SWIFTROCK™の搭載提案等継続
ナノ フィルタ	アパレル	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の主要アパレルメーカーへの当社ナノファイバー製品の提案加速 	<ul style="list-style-type: none"> 主要紳士服メーカーへの新素材量産供給開始 最大手アパレルメーカーを含む多数の企業依頼による試作品の提案並びに来期商品化に向けた企画提案を継続実施
	エア フィルタ	<ul style="list-style-type: none"> 次世代エアフィルタの開発並びに量産化体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 2020年3月期中に新素材エアフィルタの量産供給に向け、開発を進展中 大手白物家電メーカーに対し当社新素材開発提案進展 買収したアクシーとのシナジー実現に向けた取組み本格化
	産業 副資材等	<ul style="list-style-type: none"> 建材、車両等の幅広い産業副資材需要に向けたナノファイバー素材・製品の提案 	<ul style="list-style-type: none"> AI等を活用した次世代農業ベンチャー企業への当社新素材保温シートの標準化進展 自動車吸音材の量産供給進展
事業領域 拡大の施策		<ul style="list-style-type: none"> 新規事業領域拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 第2の事業ポートフォリオであるエアフィルタ事業の中期的成長に向け、生産規模拡張、応用開発拠点の設立を目的とした新社屋、新工場の取得 国内外の事業領域拡大向けエアフィルタ、不織布の事業領域、またナノ技術を持つ企業へアプローチ

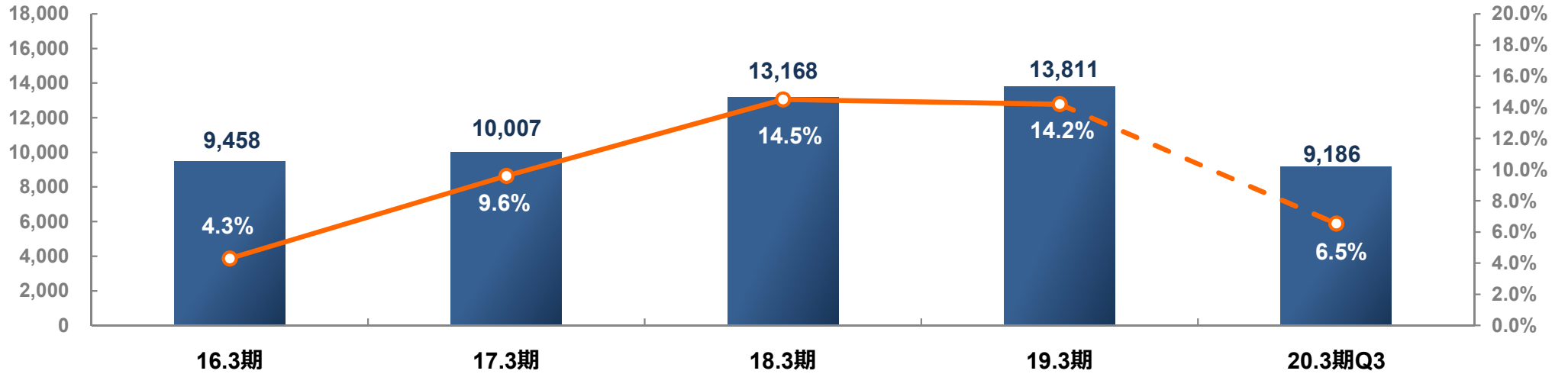


参考資料
②財務ハイライト

売上高・営業利益率推移

(単位：百万円)

■ 売上高 ○ 営業利益率



製品別売上高

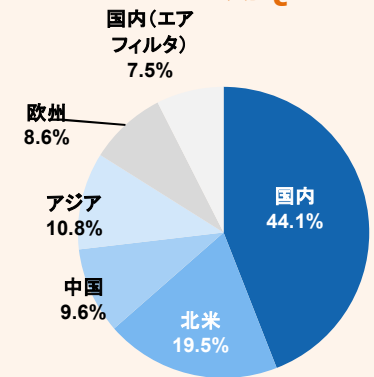
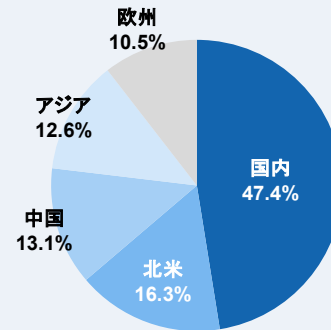
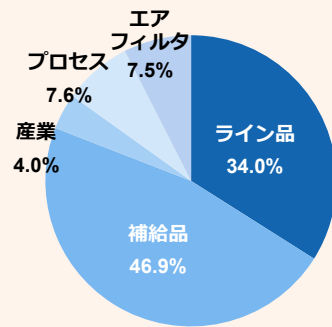
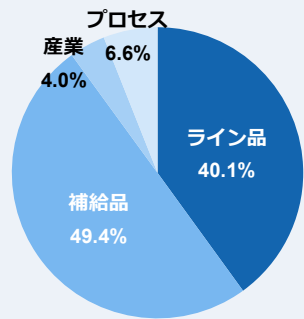
地域別売上高

19.3期

20.3期Q3

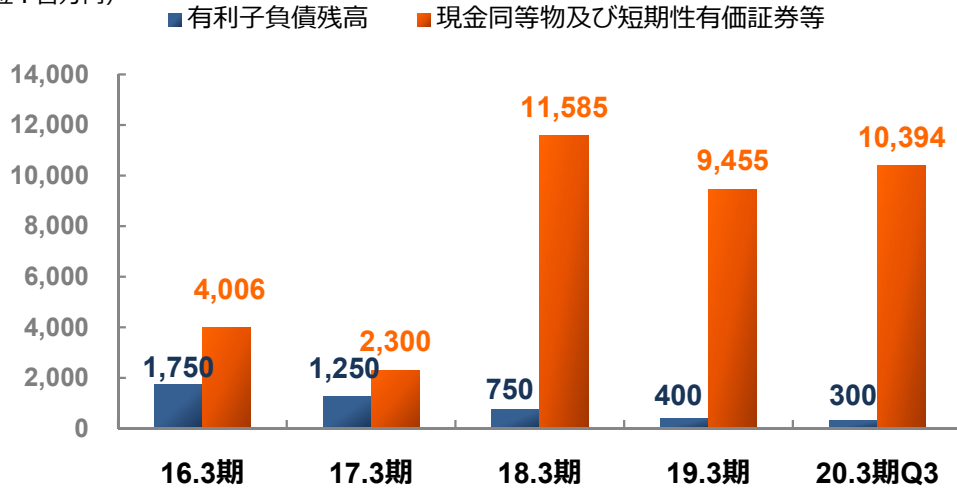
19.3期

20.3期Q3

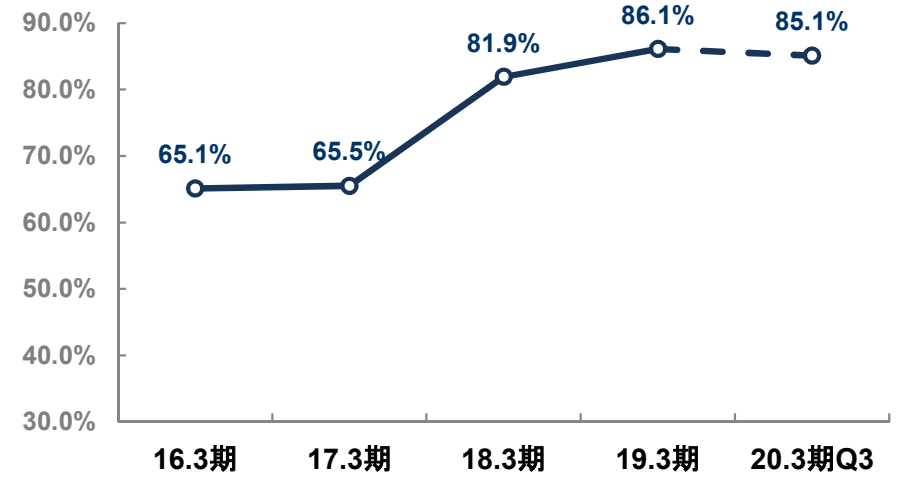


有利子負債・現金同等物及び短期性有価証券等残高

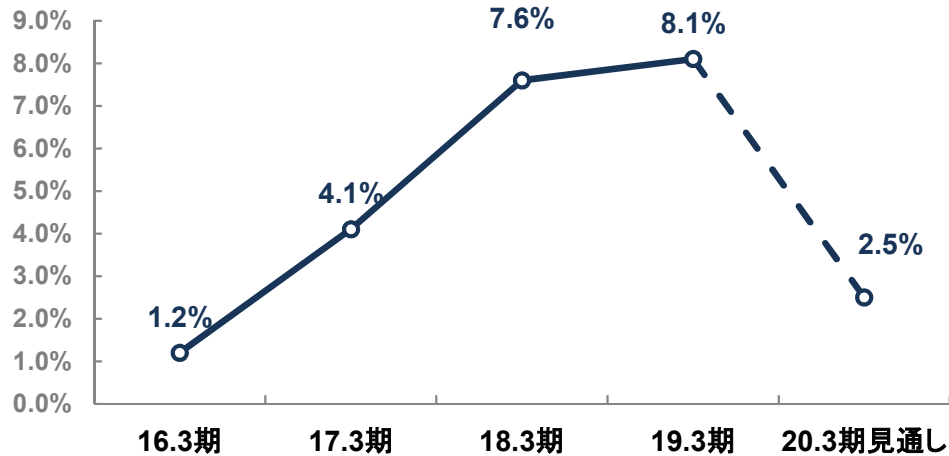
(単位：百万円)



株主資本比率

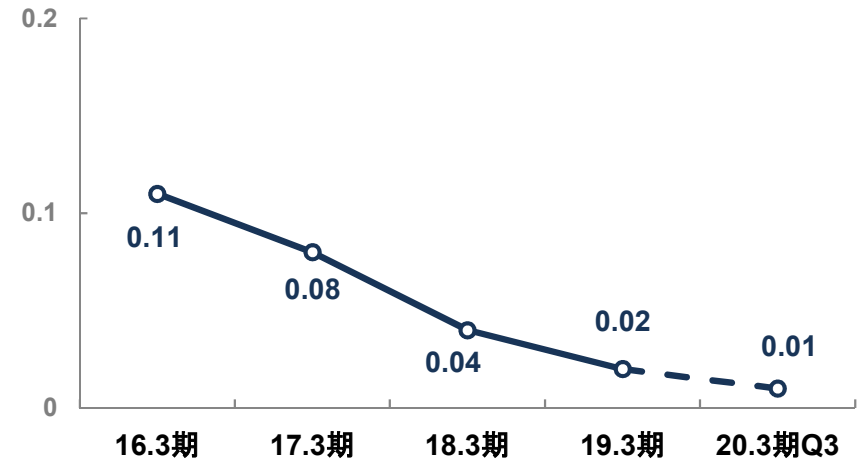


ROE



※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

D/Eレシオ

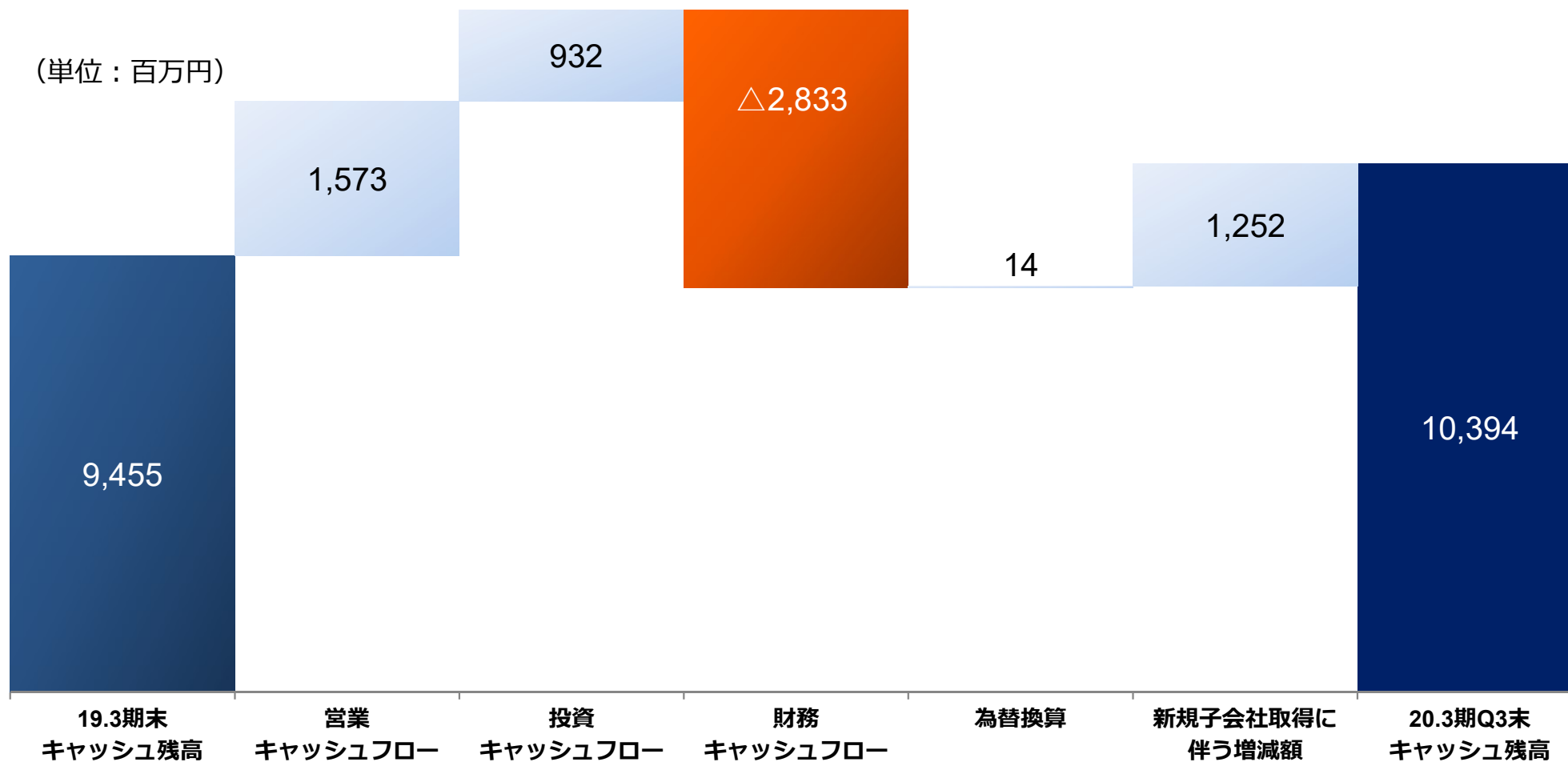


※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

(単位：百万円)

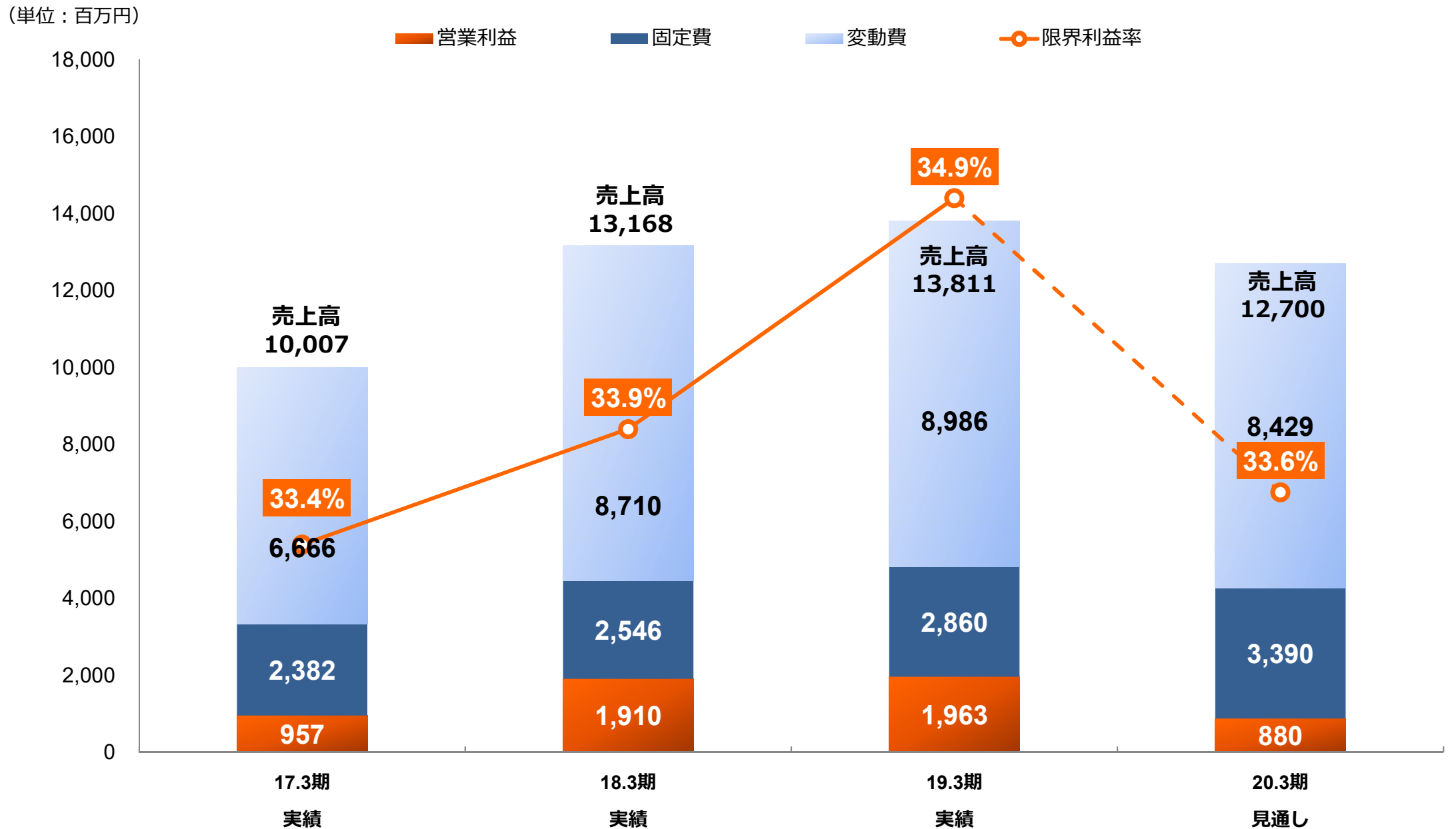
	2019/3期 期末	2020/3期 Q3	増減額	増減率		2019/3期 期末	2020/3期 Q3	増減額	増減率
流動資産	15,391	16,332	943	6.1%	流動負債	2,353	2,509	156	6.7%
現金及び預金	9,489	10,431	942	9.9%	支払手形及び買掛金	1,288	1,479	191	14.9%
受取手形及び 売掛金	3,252	3,557	305	9.4%	1年以内返済社債・長借	200	200	0	0.0%
商品・製品 & 原材料・貯蔵品	2,370	2,096	△273	△11.5%	その他	865	830	△34	△4.0%
その他	278	246	△31	△11.3%	固定負債	565	644	79	14.1%
固定資産	5,641	4,823	△816	△14.5%	社債	200	100	△100	△50.0%
有形固定資産	3,540	4,051	511	14.5%	退職給付に係る負債	190	226	36	19.0%
無形固定資産	346	366	20	5.9%	その他	175	318	143	81.9%
投資その他資産	1,754	405	△1,348	△76.9%	純資産合計	18,113	18,001	△111	△0.6%
資産合計	21,032	21,155	126	0.6%	負債純資産合計	21,032	21,155	124	0.6%

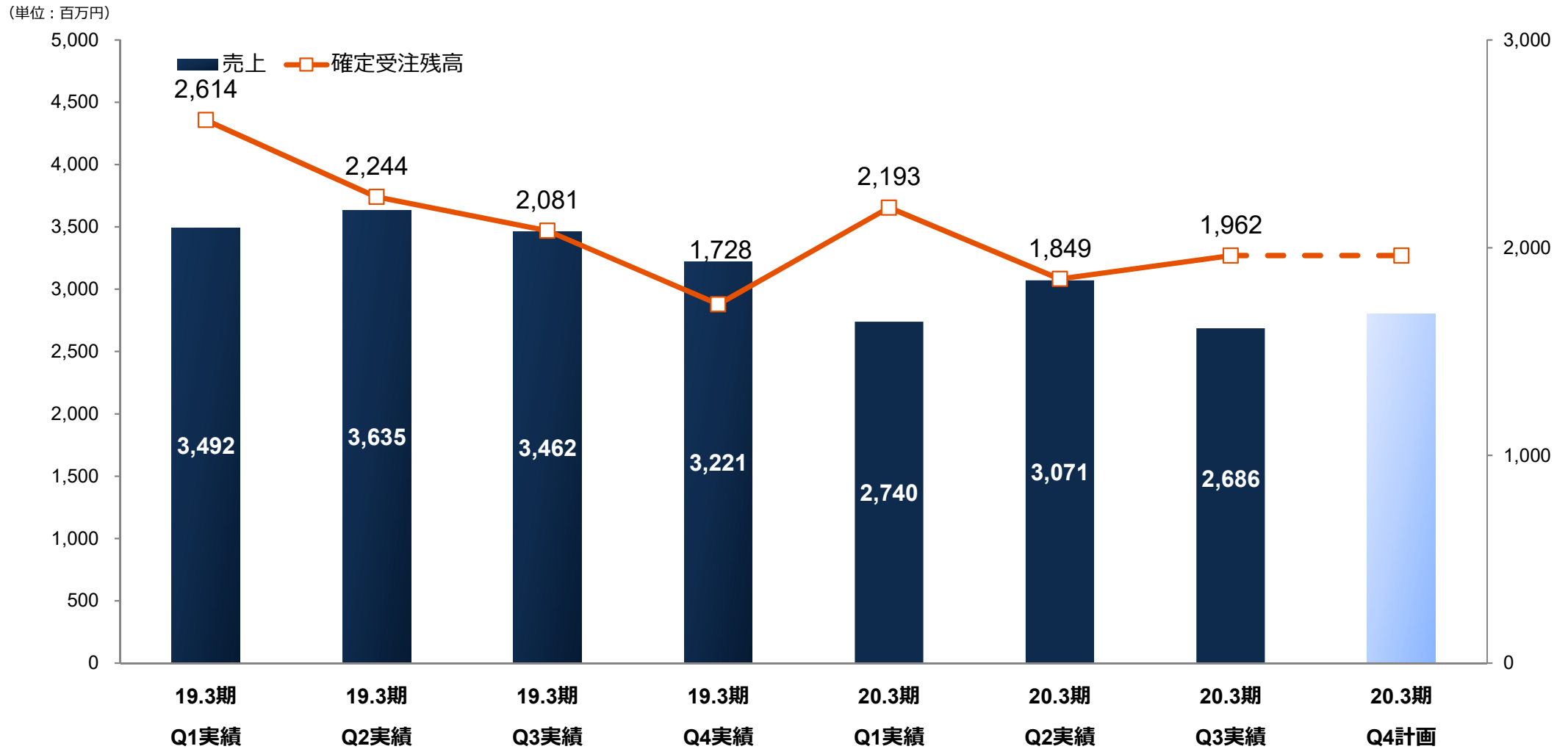
*自己資本比率 86.1% 85.1%



(単位：百万円)

Currency	Incoming		Outgoing		Net 各通貨	期中 平均レート (JPY)	円高ケース (10%)			円安ケース(10%)		
	各通貨	構成比	各通貨	構成比			期中平均 レート ▲10% (JPY)	レート 差額	影響額 (QTD)	期中平均 レート +10% (JPY)	レート 差額	影響額 (QTD)
JPY	¥11,000.0	71%	¥9,800.0	68%	¥1,200.0	-	-	-	-	-	-	-
USD	\$35.90	25%	\$32.60	25%	\$3.30	¥108.68	¥97.81	¥-10.87	¥-35.86	¥119.55	¥10.87	¥35.86
EUR	€ 2.80	2%	€ 2.40	2%	€ 0.40	¥121.05	¥108.95	¥-12.11	¥-4.84	¥133.16	¥12.11	¥4.84
PHP	0	0%	329	5%	-329	¥2.11	¥1.90	¥-0.21	¥69.42	¥2.32	¥0.21	¥-69.42
THB	55.7	1%	29.8	1%	25.9	¥3.53	¥3.18	¥-0.35	¥-9.14	¥3.88	¥0.35	¥9.14
Total	-	100%	-	100%	-	-	-	-	¥19.57	-	-	¥-19.57





世界トップシェアを誇る建機用フィルタ事業

建機用フィルタ事業は、インフラ整備の投資拡大及びアフターマーケットの強さを背景に持続的な成長が見込まれる

売上及び利益面で大きな貢献が予想される新規事業

多様な用途への活用が期待される「YAMASHIN Nano Filter™」が成長ドライバー

The Specialist in Filtration
YAMASHIN 



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 広報・IR担当まで

TEL 045-680-1680

E-mail ir@yamashin-filter.co.jp